

2001年春季年会

# 年会プログラム

於 千葉大学

2001年3月26日(月)～3月28日(水)

日本天文学会

# 日本天文学会 2001 年春季年会プログラム

場 所 千葉大学 (案内図参照)

〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

電 話・FAX 090-4387-6893 <使用期間 2001 年 3 月 25 日(日)～3 月 28 日(水)>

日 程

時刻	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
月日	会場	分 野										
3月25日 (日)	B	3月26日 (月)			記者会見	公開講演会 (一般対象)		ALMA 特別セッション				
	A				Y. 教育/Q. 星間	昼 休 み	ポ ス タ ー				ジ ュ ニ ア セ ッ シ ヨ ン	天 文 教 育 フ ォ ー ラ ム
	B				A. シミュレーション							
	C				L. 太陽系							
	D				S. 銀河核							
	E				T. 銀河団							
	F				N. 恒 星							
	G	V. 地上観										
3月27日 (火)	A	Q. 星 間	(評 議 員 会)	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	ポ ス タ ー	Q. 星 間	総 会	研 究 奨 励 賞 受 賞 記 念 講 演	懇 親 会			
	B	A. シミュレーション				B. 銀河形成						
	C	L. 太陽系/J. 位置 K. 天力/X. 情報				W. 飛翔観						
	D	S. 銀河核				R. 銀 河						
	E	T. 銀河団/M. 太陽				M. 太 陽						
	F	N. 恒 星				N. 恒 星						
	G	V. 地上観				V. 地上観						
3月28日 (水)	A	P. 星形成	(理 事 会)	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	ポ ス タ ー	P. 星形成						
	B	B. 銀河形成/U. 宇宙論				U. 宇宙論						
	C	W. 飛翔観				W. 飛翔観						
	D	R. 銀 河				R. 銀 河						
	E	M. 太 陽				M. 太 陽						
	F	N. 恒 星				N. 恒 星						
	G	V. 地上観				V. 地上観						

- A 会場：総合校舎G号館 (G10)
- B 会場：総合校舎G号館 (G20)
- C 会場：総合校舎H号館 (H51)
- D 会場：総合校舎H号館 (H52)
- E 会場：法経学部 (206 講義室)
- F 会場：法経学部 (106 講義室)
- G 会場：法経学部 (105 講義室)

- 受 付：総合校舎H号館ロビー (9:00 から)
- ポスター会場 I：総合校舎A号館2階 (大会議室)
- II：学生会館2階 (ホール・軽食室)
- 懇親会場：学生会館1階 (第二食堂)
- ビジネスアワー：  
ビジネスアワーには、集会や会合を開く  
ことができます。

## ◎講演数・参加費用

講演数：合計 466

(口頭講演 (a)：254、ポスター講演 (b)：154、ポスター講演 (c)：38)

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

## ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 7 会場で併行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 10 分、質疑応答 5 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、4 講演で 15 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。名前の直前に○印のある著者が講演者です。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180×横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、3 月 26 日の 9:00 から 3 月 28 日の 15:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

## ◎会期中の行事

1. 記者会見：25 日 (日) 13:00～ けやき会館第二会議室  
学会講演の中から、3～4 のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. 公開講演会：25 日 (日) 14:00～17:00 けやき会館大ホール
3. ジュニアセッション：26 日 (月) 14:00～15:30 G 会場
4. 天文教育フォーラム：26 日 (月) 15:30～17:00 G 会場
5. ALMA 特別セッション：26 日 (月) 17:00～19:00 G 会場
6. 評議員会：27 日 (火) 12:00～13:00 会議室
7. 総会：27 日 (火) 16:30～18:00 G 会場  
主な議題 = ○2000 年度事業報告  
○2000 年度収支決算報告・監査報告
8. 研究奨励賞受賞記念講演：27 日 (火) 18:00～18:30 G 会場
9. 懇親会：27 日 (火) 19:00～ 第二食堂
10. 理事會：28 日 (水) 12:00～13:00 会議室

## ◎第2回ジュニアセッション

主催：日本天文学会 共催：天文教育普及研究会  
後援：日本惑星協会、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉大学（予定を含む）

日時・場所：2001年3月26日（月）14：00～15：30 G会場（法経学部 105 講義室）  
（ポスター発表は年会会期中ポスター会場にて）

## ◎天文教育フォーラム（天文教育普及研究会と共催）

テーマ：『課外活動における天文教育』

日時・場所：2001年3月26日（月）15：30～17：00 G会場（法経学部 105 講義室）

概要：最近、小中高校のクラブ活動や大学の実習、公開天文台の事業などで、天文の学習活動の機会が増えています。また、少年団などの社会教育団体でも積極的に学習活動を行っています。

初等中等教育においては体験学習が重視されるとともに、題材を柔軟に選択して子どもたちの興味・関心・意欲の喚起や思考力の養成を目指す「総合的な学習の時間」が本格的に導入されようとしています。これに対応して、社会教育施設と学校との連携が重視されるようになってきました。また研究機関や大学の研究室にも学校から問合せがあるなど、「総合的な学習の時間」導入に伴う動きが始まっているようです。

昨今のこのような状況は、総合的な学習の時間を含めた学校教育や大学教育、社会教育団体における天文学習活動の位置づけを見据えつつ、天文コミュニティーとして、21世紀初頭の天文教育や普及活動にどのように関わっていくかを探る良い機会として捉えることができます。

そこで今回のフォーラムでは、特に天文の課外学習活動の現状を紹介するとともに、公開天文台や科学館などの社会教育施設や社会教育団体が課外学習活動に果たし得る役割、天文コミュニティーの関わり方について、次の時代に向けての実りある実践に結びつくような議論を行いたいと思います。

進行：

基調講演（各15分）

- ・吉川 真（日本スペースガード協会／宇宙科学研究所）  
美星スペースガードセンターの画像データを活用した小惑星探し
- ・浜根寿彦（県立ぐんま天文台）  
公開天文台と学校教育現場の連携 ― 公開天文台における複数校の合同観測
- ・五島正光（巣鴨中高等学校）、新井達之（葛飾区郷土と天文の博物館）  
博物館の太陽望遠鏡を使った太陽観測
- ・他

質疑応答／討論（30分）

参加費：年会会期中の行事ですが、＜天文教育フォーラムのみの参加者＞は参加費（年会基本登録料）不要です。年会受付で「天文教育フォーラムのみに参加します」とお伝えください。

実行委員：浜根寿彦（県立ぐんま天文台）、高橋 淳（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）、山縣朋彦（文部省）、吉川 真（宇宙科学研究所）

問い合わせ先：浜根寿彦（hamane@astron.pref.gunma.jp）

## ◎ALMA 特別セッション「ALMA で探る宇宙」

主催： 日本天文学会  
日本学術会議 天文学研究連絡委員会  
国立天文台電波専門委員会 ALMA(LMSA)計画推進小委員会

日時・場所： 2001年3月26日(月) 17:00～19:00 G会場(法経学部 105 講義室)

概要： 昨年10月にパリで開催されたALMA 調整会議(ACC)においてALMA(Atacama Large Millimeter/Submillimeter Array)計画を日米欧3者の枠組みで進めることが合意され、これまで日本の計画として推進されてきた大型ミリ波サブミリ波干渉計(LMSA)は、画期的な3極対等の国際協力によるプロジェクトALMAとして、その実現を目指すことになりました。

本特別セッションでは、ALMA 計画の最新の進捗状況を報告するとともに、3者ALMAで実現される高感度、高空間分解能、サブミリ波という周波数の窓、がどのような新展開をもたらすかを考えます。今回はALMAのキーサイエンスのひとつである星・惑星系形成を具体例として取り上げ、講演者のお一人として、宇宙化学の世界的な権威でありALMA 科学諮問委員会(ASAC)の次期委員長であるライデン大学のEwine van Dishoeck教授をお迎えしました。総合討論の時間の一部を使って、運用体制・研究体制の議論も始めたいと考えます。幅広い分野の研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

プログラム：

- ・イントロダクション 石黒正人 教授(国立天文台)
- ・講演 Ewine van Dishoeck 教授(オランダ・ライデン大学)
- ・講演 観山正見 教授(国立天文台)
- ・総合討論

世話人：立松健一、長谷川哲夫(国立天文台電波天文学研究系)

## ◎日本天文学会公開講演会(千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉大学後援)

テーマ：「21世紀の天文学」

日時：2001年3月25日(日) 14:00～17:00(13:30開場)

場所：千葉大学 けやき会館

対象：中学生以上・一般

講演 I：「暗黒の宇宙に光をあてる：アンデス巨大電波望遠鏡ALMA(アルマ)」

講演者：国立天文台・教授 長谷川哲夫

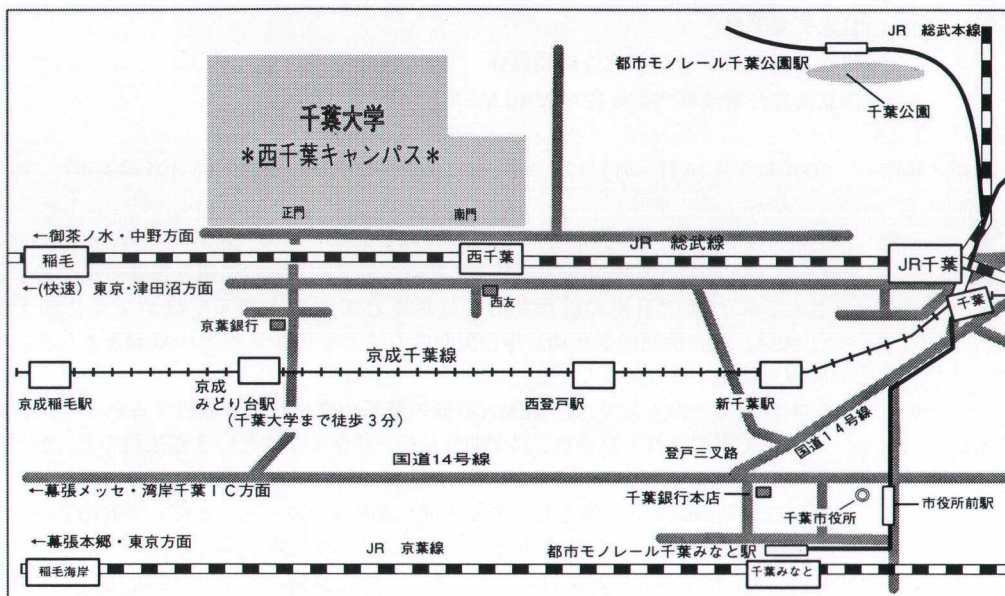
講演 II：「宇宙が発する声を聞きたい：重力波天文学への挑戦」

講演者：国立天文台・教授 藤本真克

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

# 春季年会会場（千葉大学）のご案内



## 交通機関のご案内

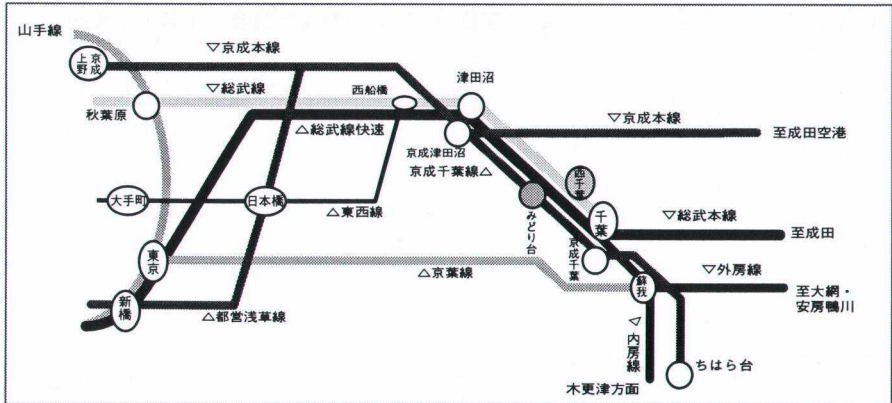
### JR 総武線(各駅停車) 西千葉駅下車 徒歩1分

- ◆東京駅から 快速(総武本線、外房線、内房線) → 稲毛 【所要時間 約40分】
- ◇稲毛駅で乗り換え (総武線各駅停車で一駅) → 西千葉 【所要時間 2分】
- ◆(総武線各駅停車のみ利用) 御茶ノ水 → 西千葉 【所要時間 約50分】

### 京成 千葉線 みどり台駅下車 徒歩3分

- ◆京成上野駅から 京成本線(特急：普通料金と同額) → 京成津田沼 【所要時間 34分】
- ◇京成津田沼駅で乗り換え (京成千葉線) → みどり台 【所要時間 12分】

**その他** 学内に駐車場はありません。西千葉、みどり台から至近ですので電車をご利用ください。

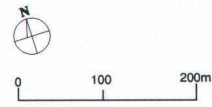


- 時刻表**
- \* 「えきから時刻表」 <http://eki.joy.ne.jp/>
  - \* JR東日本ホームページ <http://www.jreast.co.jp/>
  - \* 京成電鉄時刻表 <http://www.keisei.co.jp/keisei/tetudou/time/index.html>

# 年会会場案内図

千葉大学

----- 西千葉キャンパスマップ -----



A・B会場 (総合校舎G号館)

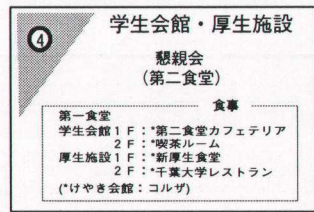
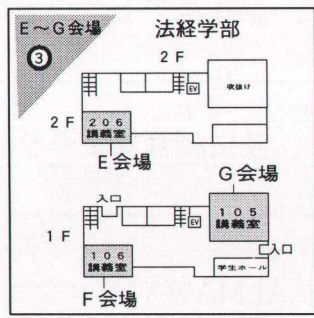
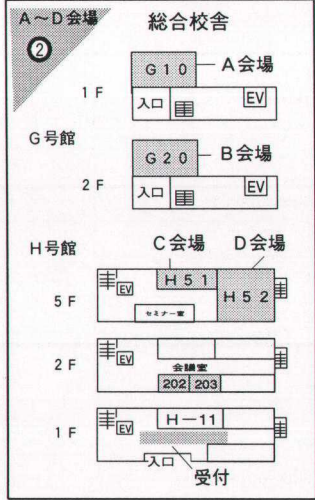
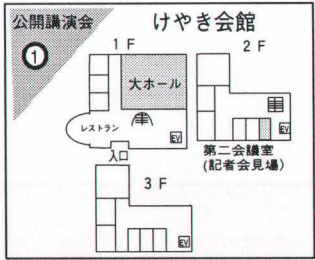
C・D会場 (総合校舎H号館)  
受付・会議室

ポスター会場Ⅰ (総合校舎A号館)

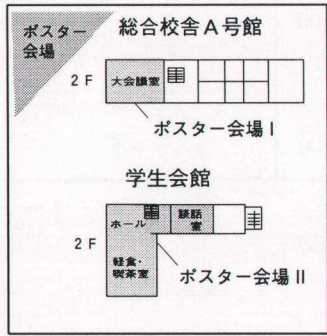
E～G会場 (法経学部)

ポスター会場Ⅱ (学生会館2階)  
懇親会場 (学生会館1階)

公開講演会 (けやき会館)



○ : 会場  
● : 学内各施設



口頭セッション 3月26日(月)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
10:00	【教育】 Y01a	【シミュレーション】 A01a	【太陽系】 L01a	【銀河核】 S01a	【銀河団】 T01a	【恒星】 N01a	【地上観】 V01a
10:15	Y02b, Y03b Y04b, Y05b	A02a	L02a	S02a	T02a	N02a	V02a
10:30	Y06b, Y07b Y08b, Y09b	A03a	L03a	S03a	T03a	N03a	V03a
10:45	Y10b	A04a	L04a	S04a	T04a	N04a	V04a
11:00	【星間】 Q01a	A05a	L05b, L06b L07b, L08b	S05a	T05a	N05a	V05a
11:15	Q02a	A06a	L09b, L10b	S06a	T06a	N07a	V06a
11:30	Q03a	A07a	L13a	S07a	T07b, T08b T09b, T10b	N08a	V07b, V08b V09b, V10b
11:45	Q04a	A08a	L14a	S08b, S09b S11b, S12b	T11b, T12b T13b, T14b	N09b, N10b N11b, N12b	V11b, V12b
12:00	Q05b, Q06b Q07b, Q08b			S13b, S14b		N13b	
13:00	昼休み						
14:00	ポスター						
15:30	ジュニアセッション						
17:00	天文教育フォーラム						
19:00	ALMA特別セッション						



口頭セッション 3月27日(火)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
09:30	【星間】 Q09a	【シミュレーション】 A09b, A10b A11b, A12b	【太陽系】 L16a	【銀河核】 S15a	【銀河団】 T15a	【恒星】 N14a	【地上観】 V14a
09:45	Q10a	A13a	L17a 【天力位置】 【情報】	S16a	T16a	N15a	V15a
10:00	Q11a	A14a	K01a	S17a	T17a	N16a	V16a
10:15	Q12a	A15a	K02a	S18a	T18a	N17a	V17a
10:30	Q13a	A16a	K03a	S19a	T19a	N18a	V18a
10:45	Q14a	A17a	K04a	S20a	【太陽】 M01a	N19a	V19a
11:00	Q15a	A18a	J01a	S21a	M02a	N20a	V20a
11:15	Q16a	A19a	K05b, K07b X01b, X02b	S22a	M03b, M04b M05b, M06b	N21a	V21a
11:30	Q17a	A20a		S23a	M07a	N22b, N23b N24b, N26b	V22b, V23b V24b, V25b
11:45	Q18b, Q19b Q20b	A22b, A23b A24b, A25b		S24a	M08a	N27b, N28b N29b, N31b	V26b, V27b
12:00	A26b						
13:00	昼休み						
14:30	ポスター						
14:30	【星間】 Q21a	【銀河形成】 B01a	【飛翔観】 W01a	【銀河】 R01a	【太陽】 M09a	【恒星】 N32a	【地上観】 V33a
14:45	Q22a	B02a	W02a	R02a	M10a	N33a	V34a
15:00	Q23a	B03a	W03a	R03a	M11a	N34a	V35a
15:15	Q24a	B04a	W04b, W05b W06b, W07b	R04a	M12b, M13b M14b	N35a	V36a
15:30	Q25a	B05a	W09a	R05a	M15a	N36a	V37a
15:45	Q26a	B06a	W10a	R06b, R07b R08b	M16a	N37a	V38a
16:00	Q27a	B07a	W11a	R10a	M17a	N38a	V39b, V40b V41b, V42b
16:15	Q28b, Q29b Q30b	B08a	W12b, W13b W14b, W15b	R11a	M18a	N39b, N40b N41b, N42b	V43b, V44b V45b, V46b
16:30	総会						
18:00	研究奨励賞受賞記念講演						
18:30	研究奨励賞受賞記念講演						

口頭セッション

3月28日(水)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	<b>【星形成】</b>	<b>【銀河形成】</b>	<b>【飛翔観】</b>	<b>【銀河】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【恒星】</b>	<b>【地上観】</b>
09:30	P01a	B09a	W16a	R12a	M19a	N43a	V47a
09:45	P02a	B10a	W17a	R13a	M20a	N44a	V48a
10:00	P03a	B11a	W18a	R14a	M21a	N45a	V49a
10:15	P04a	B12a	W19a	R15a	M22a	N46a	V50a
10:30	P05a	B13a	W20a	R16a	M23a	N47a	V51a
10:45	P06a	B14b, B16b B17b, B18b	W21a	R17b, R18b R19b, R20b	M24a	N48a	V52a
11:00	P07a	B21b	W22a	R21b, R22b R23b, R24b	M25a	N49a	V53a
11:15	P08a	<b>【宇宙論】</b> U01b, U02b U03b, U04b	W23b, W24b W25b, W26b	R25b, R27b R28b, R29b	M26a	N50a	V54a
11:30	P09b, P10b P11b, P12b	U08a	W27b, W28b W30b	R30a	M27a	N51a	V55a
11:45	P13b	U09a		R31a	M29b, M30b M31b, M32b	N52b, N53b N54b, N55b	V56b, V57b V58b, V59b
12:00		U10a				N56b, N59b	
13:00	昼休み						
	ポスター						
	<b>【星形成】</b>	<b>【宇宙論】</b>	<b>【飛翔観】</b>	<b>【銀河】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【恒星】</b>	<b>【地上観】</b>
14:30	P14a	U11a	W31a	R32a	M33a	N60a	V62a
14:45	P15a	U12a	W32a	R33a	M34a	N61a	V63a
15:00	P16a	U13a	W33a	R34a	M35a	N62a	V65a
15:15	P18a	U14a	W34a	R35a	M36a	N63a	V66a
15:30	P19a	U15a		R36a	M37a	N64a	V67a
15:45	P20a	U16a		R37a	M38a	N65a	V68a
16:00		U17a				N66a	V69a
16:15		U18a					V70a

<会場Ⅰ>

【位置天文学】

【天体力学】

K05b, K06c, K07b

【太陽系】

L05b, L06b, L07b, L08b, L09b, L10b,  
L11c, L12c, L15c

【地上観測機器】

V07b, V08b, V09b, V10b, V11b, V12b,  
V13c, V22b, V23b, V24b, V25b, V26b,  
V27b, V28c, V29c, V30c, V31c, V32c,  
V39b, V40b, V41b, V42b, V43b, V44b,  
V45b, V46b, V56b, V57b, V58b, V59b,  
V60c, V61c, V64c

【飛翔体観測機器】

W04b, W05b, W06b, W07b, W08c, W12b,  
W13b, W14b, W15b, W23b, W24b, W25b,  
W26b, W27b, W28b, W29c, W30b

【情報処理】

X01b, X02b

【天文教育・その他】

Y02b, Y03b, Y04b, Y05b, Y06b, Y07b,  
Y08b, Y09b, Y10b, Y11c

<会場Ⅱ>

【大規模シミュレーション】

A09b, A10b, A11b, A12b, A21c, A22b,  
A23b, A24b, A25b, A26b, A27c

【銀河形成】

B14b, B15c, B16b, B17b, B18b, B19c,  
B20c, B21b

【太陽】

M03b, M04b, M05b, M06b, M12b, M13b,  
M14b, M28c, M29b, M30b, M31b, M32b

【恒星】

N06c, N09b, N10b, N11b, N12b, N13b,  
N22b, N23b, N24b, N25c, N26b, N27b,  
N28b, N29b, N30c, N31b, N39b, N40b,  
N41b, N42b, N52b, N53b, N54b, N55b,  
N56b, N57c, N58c, N59b

【星形成】

P09b, P10b, P11b, P12b, P13b, P17c,  
P21c, P22c, P23c

【星間現象】

Q05b, Q06b, Q07b, Q08b, Q18b, Q19b,  
Q20b, Q28b, Q29b, Q30b, Q31c

【銀河】

R06b, R07b, R08b, R09c, R17b, R18b,  
R19b, R20b, R21b, R22b, R23b, R24b,  
R25b, R26c, R27b, R28b, R29b

【活動銀河核】

S08b, S09b, S10c, S11b, S12b, S13b,  
S14b

【銀河団】

T07b, T08b, T09b, T10b, T11b, T12b,  
T13b, T14b

【宇宙論】

U01b, U02b, U03b, U04b, U05c, U06c,  
U07c

【ジュニアセッション】

## A. 大規模シミュレーション (B会場)

3/26 (月)	3/27 (火)
10:00 A01a Adaptive mesh 法による流体の特異性発生シミュレーション ○山田良透、宮下 尚、藤 定義、松本剛 (京大理)	A11b シアー流長時間積分に対して SPH 法がもつ問題点とその解決策 一速度場の高精度表現に基づく方法一 ○今枝佑輔 (東大理)、犬塚修一郎 (国立天文台)
10:15 A02a 弱い磁場を持つ中性子星と降着円盤の磁氣的相互作用による磁気圏振動 ○加藤成晃 (千葉大自然)、林 満 (国立天文台)、松元亮治 (千葉大理)、宮路茂樹 (千葉大自然)	A12b Hydrodynamic simulations of forming dwarf galaxies using nested grid method on massively parallel processors ○森 正夫、梅村雅之 (筑波大)
10:30 A03a 衝撃波圧縮層の進化と分子雲の形成過程 ○小山 洋 (国立天文台、東大理)、犬塚修一郎 (国立天文台)	09:45 A13a 方位角方向磁場を持つ円盤から形成される対流優勢磁気降着流 ○町田真美 (千葉大自然)、松元亮治 (千葉大理)、嶺重 慎 (京大理)
10:45 A04a 超新星爆発による星間ガスの力学的加熱効率について ○和田桂一 (国立天文台)	10:00 A14a 降着円盤中の磁気乱流におけるホール効果の影響 ○佐野孝好、James M. Stone (メリーランド大)
11:00 A05a 入れ子状格子における自己重力の高速解法 ○松本倫明 (法政大人間環境)、花輪知幸 (名大理)	10:15 A15a 鉛直磁場に貫かれた降着円盤の大局的数値実験：準定常状態の動径構造 ○桑原匠史 (千葉大自然科学)、柴田一成 (京大理)、松元亮治 (千葉大理)
11:15 A06a 惑星集積の $N$ 体シミュレーション：原始惑星の寡占的成長と原始惑星系の多様性 II ○小久保英一郎 (国立天文台)、井田茂 (東工大理)	10:30 A16a 磁化圧縮層における自己重力分裂片の進化 ○梅川通久 (千葉大普遍教育)
11:30 A07a ダークマターハロー形成シミュレーション ○福重俊幸 (東大総合文化)、牧野淳一郎 (東大理)	10:45 A17a フィラメント状分子雲での Alfvén 波の減衰 ○杉本香菜子、福田尚也、花輪知幸 (名大理)
11:45 A08a カーブラックホール磁気圏におけるポインティングフラックス・ジェット ○小出真路 (富山大工)、David L. Meier (JPL)、柴田一成 (京大理)、工藤哲洋 (国立天文台)	11:00 A18a 宇宙ジェットの磁気流体力学数値シミュレーション ○工藤哲洋 (国立天文台)、松元亮治 (千葉大理)、柴田一成 (京大理)
.....	
3/27 (火)	
09:30 A09b 国立天文台の新しい大規模数値シミュレーションシステム ○伊藤孝士、工藤哲洋、林満、小久保英一郎、和田桂一、富阪幸治 (国立天文台)	11:15 A19a 四重極モデルに基づいた太陽フレアの3次元 MHD シミュレーション ○廣瀬重信、内田 豊 (理科大理)
A10b 大規模シミュレーション結果のデータベース化 ○永井智哉 (科学技術振興事業団)、大石雅寿、観山正見 (国立天文台)	11:30 A20a 宇宙シミュレーション・ネットラボラトリーシステムの開発 (2): 天体シミュレーション実施支援システムの開発 ○中村賢仁 (科学技術振興事業団)、松元亮治 (千葉大理)、ネットラボラトリーチーム

3/27 (火)

- 11:45 **A22b** PPM法に基づいた新しいMHDコードの開発  
 ○佐野孝好、James M. Stone (メリーランド大)
- A23b** 重力成層大気内での磁気リコネクション  
 ○竹内彰継 (米子高専)
- A24b** フレアの磁気流体シミュレーション—熱伝導・彩層蒸発・放射冷却の効果II  
 ○横山央明 (国立天文台)、柴田一成 (京大理)
- A25b** 星形成過程の多重格子法によるシミュレーション: 恒星の角運動量と磁束問題  
 ○富阪幸治 (国立天文台)
- 12:00 **A26b** 非一様密度宇宙の再電離過程: 光源を含む3次元輻射輸送計算  
 ○中本泰史、梅村雅之、須佐元 (筑波大計物セ)

ポスターのみ

- A21c** 宇宙シミュレーション・ネットラボラトリーシステムの開発(3): 1次元基本課題  
 ○松元亮治 (千葉大理)、中村賢仁 (科学技術振興事業団)、他ネットラボラトリーチーム
- A27c** 回転トーラスからの磁氣的降着によるガンマ線バーストの数値実験  
 ○柳橋歩、加藤成晃 (千葉大自然)、松元亮治 (千葉大理)

## B. 銀河形成 (B会場)

3/27 (火)		3/28 (水)	
14:30	<b>B01a</b> 種族3原始星の主降着段階における進化 ○大向一行 (国立天文台、アルチェトリ天文台)、F.Palla (アルチェトリ天文台)	10:00	<b>B11a</b> HDF-N における明るい銀河の $z=2$ までの形態別の数密度及び色分布の進化 ○鍛冶澤 賢、山田 亨 (国立天文台)
14:45	<b>B02a</b> 原始ガス雲からの矮小銀河形成 ○川崎由佳理、曾田康秀、森川雅博 (お茶大理)	10:15	<b>B12a</b> OHS による $z>4.4$ Quasar の近赤外分光 ○岩室史英 (京大理)、本原顕太郎 (国立天文台ハワイ)、舞原俊憲 (京大理)、吉井 譲 (東大理)、原島 隆、木村仁彦、島 尚徳、衛藤 茂 (京大理)、すばる望遠鏡チーム
15:00	<b>B03a</b> Effects of multiple supernovae on forming dwarf galaxies ○森 正夫 (筑波大)、Andrea Ferrara (Archetri Obs.)、Piero Madau	10:30	<b>B13a</b> ISOCAM による SCUBA ソースの同定 ○佐藤康則、川良公明、祖父江義明 (東大理)、L. L. Cowie、D. B. Sanders (ハワイ大)、谷口義明 (東北大理)、松原英雄 (宇宙研)、奥田治之 (ぐんま天文台)
15:15	<b>B04a</b> Evolution from Distant Star-Forming Galaxies to Nearby Elliptical Galaxies ○高木俊暢 (立教大理)、有本信雄 (東大理)、花見仁史 (岩手大人文)	10:45	<b>B14b</b> 初期宇宙における低質量星の形成過程 ○町田正博、藤本正行 (北大理)、中村文隆 (新潟大)
15:30	<b>B05a</b> 楕円銀河の色-等級関係へのUV背景放射の影響 ○長島雅裕、郷田直輝 (国立天文台)	<b>B16b</b> QSO Luminosity Function using Realistic Spectrum Model ○細川隆史、川口俊宏、吉川耕司、嶺重 慎 (京大理)、梅村雅之 (筑波大計算物理)	
15:45	<b>B06a</b> 銀河団銀河の進化に対する ram pressure stripping の影響 ○岡本 崇 (北大理)、長島雅裕 (国立天文台)	<b>B17b</b> Subaru Deep Survey (秋) 領域における $z \gtrsim 3.5$ 銀河のクラスタリング ○大内正己、嶋作一大、岡村定矩 (東大理)、小宮山 裕、宮崎 聡、八木雅史 (国立天文台)、土居 守、仲田史明、古澤久徳、宮崎真行 (東大理)、Suprime-Cam チーム	
16:00	<b>B07a</b> Stochastic Biasing of Galaxies and Dark Halos in Cosmological Hydrodynamic Simulations ○吉川耕司 (京大理)、樽家篤史 (東大理)、Y. P. Jing (上海天文台)、須藤 靖 (東大理)	<b>B18b</b> 遠方銀河団 3C324 ( $z=1.2$ ) の多色観測による銀河団銀河の進化過程の考察 ○仲田史明 (東大理)、鍛冶澤 賢 (東北大理)、山田 亨 (国立天文台)、児玉忠恭、嶋作一大 (東大理)、田中壱 (国立天文台)、Suprime - Cam チーム、すばる望遠鏡チーム	
16:15	<b>B08a</b> 暗黒物質ハローの質量構造からたどる、銀河、銀河団の形成史 ○佐藤紳司、秋元文江 (名大理)、隈井泰樹 (熊本学園大)、田原 譲、古沢彰浩 (名大理)、渡辺 学 (宇宙研)		
3/28 (水)			
09:30	<b>B09a</b> SPH 法に基づく輻射流体力学的銀河形成シミュレーション ○須佐 元 (筑波大計算物理)	11:00	<b>B21b</b> 原初水素分子ガスの赤外線分光による観測可能性 ○芝井 広、竹内 努、T. N. Rengarajan (名大理)、平下博之 (京大理)
09:45	<b>B10a</b> 銀河形成期の爆発的な星形成による輻射流体力学的銀河中心核形成 ○川勝 望 (筑波大物理)、梅村雅之 (筑波大計算物理)		

<p>ポスターのみ</p> <p><b>B15c</b> 第一世代天体形成における輻射力の効果 ○林 雅幸 (筑波大物理)、梅村雅之 (筑波大計算物理)</p> <p><b>B19c</b> SSA22 領域の近赤外狭帯域および広帯域撮像観測 ○田村直之、太田耕司、舞原俊憲、岩室史英 (京大理)、本原顕太郎、高田唯史 (国立天文台ハワイ)、家 正則 (国立天文台)</p>	<p><b>B20c</b> CO (4-3) Observations of PC 2047+0123 at <math>z=3.8</math> ○中西康一郎、河野孝太郎、川辺良平 (国立天文台)</p>
---	--

### J. 位置天文学 (C 会場)

<p>3/27 (火)</p> <p>11:00   <b>J01a</b> IAU2000 天文諸量最良推定値表 ○福島登志夫 (国立天文台)</p>	
--	--

### K. 天体力学 (C 会場)

<p>3/27 (火)</p> <p>10:00   <b>K01a</b> 美星スペースガードセンターにおけるスペースデブリ等の観測および軌道決定 浅見敦夫、David Asher、橋本就安、磯部瑠三、西山広太、大島良明、寺菌淳也、浦田 武、吉川 真 (日本スペースガード協会)、横田孝夫 (日本宇宙フォーラム)、○野中和明 (宇宙開発事業団)</p> <p>10:15   <b>K02a</b> 2次元小西・金子系の力学的安定性 ○稲垣省五 (京大理)</p> <p>10:30   <b>K03a</b> 原始惑星の軌道安定性に対するガス抵抗の効果について ○岩崎一典、田中秀和、中澤 清、榎森啓元 (東工大理)</p> <p>10:45   <b>K04a</b> 連星系における惑星の軌道安定性: MACHO-97-BLG-41 ○森脇一匡 (神戸大自然)、中川義次 (神戸大理)</p>	<p>3/27 (火)</p> <p>11:15   <b>K05b</b> 記号力学でみた対称型1次元四体問題 (続) ○関口昌由 (木更津高専)、谷川清隆 (国立天文台)</p> <p><b>K07b</b> Orbital stability of Lagrange equilibrium point of Sun-Earth system ○荒木田英禎 (総研大)、福島登志夫 (国立天文台)</p> <p>.....</p> <p>ポスターのみ</p> <p><b>K06c</b> 一次元シート系でのフラクタル構造形成における膨張の影響 ○立川崇之、前田恵一 (早大理工)</p>
--	---

L. 太陽系 (C会場)

3/26 (月)		3/26 (月)	
10:00	<b>L01a</b> 流星電波観測における流星検出効率 ○宮沢明子、大西浩次、服部 忍 (長野高専)	11:15	<b>L09b</b> リニア彗星 (C/1999 Y1) の太陽遠方で の奇妙な尾について ○中島 崇 (電通大工)、福島英雄、渡 部潤一 (国立天文台)、菅原 賢 (厚木 市こども科学館)
10:15	<b>L02a</b> タイバー彗星 (C/1996 Q1) とリニア彗 星 (C/1999 S4) の類似性 ○渡部潤一、福島英雄 (国立天文台)、 他 COMET チーム		<b>L10b</b> Suprime-Cam による Sub-km ベルト小惑 星の観測 ○吉田二美 (神戸大自然/国立天文台)、 中村 士、布施哲治、小宮山裕、八木 雅文、宮崎聡 (国立天文台)、岡村定 矩、大内正己、宮崎 真行 (東大理) ほか Suprime-Cam グループ
10:30	<b>L03a</b> 統計的手法を用いた彗星光度の確率予測 の試み ○小野正雄 (東京理科大工)、渡部潤一 (国立天文台)	11:30	<b>L13a</b> Spectroscopic Study of Meteors ○阿部新助 (総研大/国立天文台)、 矢野 創 (宇宙研)、海老塚 昇 (理研)、 高橋順子 (国立天文台)、平原靖大 (名大地球惑星)、渡部潤一 (国立天文台)
10:45	<b>L04a</b> 美星スペースガードセンターにおける地球 接近小惑星検出追跡観測 浅見敦夫、David Asher、橋本就安、磯 部瑠三、西山広太、大島良明、寺菌淳 也、浦田 武、○吉川 真 (日本スペース ガード協会)、横田孝夫 (日本宇宙フォーラム)	11:45	<b>L14a</b> 木星赤外オーロラの粒子降下フラック ス・モデル ○佐藤毅彦 (東理大・FRCCS)、J.E.P. Connerney (NASA ゴダード)
11:00	<b>L05b</b> しし座流星群流星痕の高分解能観測 ーしし座流星群流星痕同時観測キャン ペーン 2000 の初期成果ー ○戸田雅之 (日本流星研究会)、山本 真行 (東大理)	.....	
	<b>L06b</b> 世界の流星電波観測による流星群活動の 完全監視 ○小川 宏 (筑波大自然学類)、豊増伸 治 (みさと天文台)、大西浩次 (長野 高専)、前川公男 (福井高専)	3/27 (火)	
	<b>L07b</b> 流星電波反射領域の移動の検出 ○石川寿之、大西浩次、宮沢明子、服部 忍、藤沢雄章、駒込徳臣、柳沢雅俊、 遠藤 誠、伊藤雄作、川邨雅貴、丸山 寿之、柞山 快、徳永麻伊、青木良枝、 飯島由紀子、小林 彩 (長野高専)、 前川公男 (福井高専)、中村卓司 (京 大宙空電波)	09:30	<b>L16a</b> 原始惑星系円盤との重力相互作用を考慮 した地球型惑星形成 ○小南淳子、井田 茂 (東工大地惑)
	<b>L08b</b> 複数基線 HRO 観測による流星電波検出 効率の検証 ○大西浩次、宮沢明子、服部 忍、藤沢 雄章、駒込徳臣、石川寿之、柳沢雅俊、 遠藤 誠、伊藤雄作、川邨雅貴、丸山 寿之、柞山 快、徳永麻伊、青木良枝、 飯島由紀子、小林 彩 (長野高専)、 山本道成 (綾部市天文館)、時政典孝 (西はりま天文台)、豊増伸治 (みさと天 文台)、小川 宏 (筑波大)、前川公男 (福井高専)、中村卓司 (京大宙空電波)	09:45	<b>L17a</b> 原始惑星系円盤の散逸による系外惑星の 離心率の進化 ○長沢真樹子、井田 茂 (東工大地惑)、 Lin, D. N. C. (UCO/Lick Observatory)
		.....	
		ポスターのみ	
		<b>L11c</b> 太陽系へ飛来する星間起源塵のサイズの 制約とその最接近距離 ○直井隆浩、佐々木 晶 (東大理)	
		<b>L12c</b> ミリ波干渉計による木星アンモニアの マッピング ○長谷川 均 (アステック)、竹内 覚 (福岡大)、横河創造 (総研大)、杉山 耕一朗 (北大)、阿部新助 (総研大)、 斎藤智樹 (東大理)	
		<b>L15c</b> ダスト層の重力分裂による微惑星形成ー 微惑星の初期質量ー ○古屋 泉 (神戸大自然)、中川義次 (神戸大理)	



## M. 太陽 (E 会場)

3/27 (火)		3/27 (火)	
10:45	<b>M01a</b> 最新の日震学太陽モデル ○渡辺 悟、柴橋博資 (東大理)	15:00	<b>M11a</b> 磁束管浮上領域に伴うサージ現象をいろんな波長で観てみると ... ○吉村圭司、黒河宏企 (京大理)、下条圭美 (国立天文台)、Shine, R. A. (LMSAL)
11:00	<b>M02a</b> ゼーマン効果の偏光線輪郭の逆問題的解析法 ○桜井 隆 (国立天文台)	15:15	<b>M12b</b> 黒点の衝突によるフレアの発生 ○下条圭美 (国立天文台野辺山)
11:15	<b>M03b</b> 太陽自転の南北非対称とフレアの南北非対称との関係について ○鈴木美好 (津高校)、久保田 諄 (大阪経済大)		<b>M13b</b> ようこう SXT、SOHO EIT と H $\alpha$ コロナグラフの同時観測によるプロミネンス突然消失の解析 ○殿岡英顕、松元亮治、宮路茂樹 (千葉大)、S. F. Martin (Helio Research)、R. C. Canfield (Montana State U.)、柴田一成 (京大)、A. McAllister (HAO)、K. Reardon (Osservatorio Astronomico di Capodimonte)
	<b>M04b</b> 1999 年 8 月 11 日の皆既日食におけるフラッシュスペクトルの偏光観測 II ○米島和香子、平山 淳、高橋典嗣、山崎高幸 (明星大)、飯塚康至 (明星大 OB)		<b>M14b</b> 浮上磁場の 3 次元モデル：対流の効果 その 3 ○野澤 恵 (茨大理)、柴田一成 (京大花山天文台)
	<b>M05b</b> Microlens Array による観測のデータの解析について ○吉村圭司 (京大飛騨天文台)、末松芳法 (国立天文台)、Balasubramaniam, K. S. (NSO, USA)、Smaldone, L. A. (Univ. Naples, Italy)、Hegwer, S. (NSO, USA)、大谷 浩 (京大理)	15:30	<b>M15a</b> 3-dimensional simulation of emerging flux tube ○真柄哲也 (Montana State University)、Dana Longcope (Montana State University)
	<b>M06b</b> 高速 H $\alpha$ カメラの開発・実時間太陽観測画像処理システム ○花岡庸一郎、一本 潔、野口本和、桜井 隆 (国立天文台)、北井礼三郎、高津裕通 (京大)	15:45	<b>M16a</b> 太陽・恒星フレアの HR 図：EM-T ダイアグラム ○柴田一成 (京大理)、横山央明 (国立天文台)
11:30	<b>M07a</b> 飛騨天文台 DST での波面センシング実験と解析 ○北 洋、馬場直志 (北大工)、三浦則明 (北見工大)、北井礼三郎、上野悟 (京大理)、末松芳法 (国立天文台)	16:00	<b>M17a</b> 局所シア構造をもつ磁気アーケードの突発的エネルギー解放過程 ○草野完也、真栄城朝弘 (広島大先端)
11:45	<b>M08a</b> プロミネンス上昇速度と磁場構造の変化 ○下条圭美 (国立天文台野辺山)	16:15	<b>M18a</b> 渦・電流シートのフィラメント化 ○八柳祐一、戎崎俊一 (理研)、羽鳥尹承 (神奈川大理)、加藤頼一 (早大理工)
14:30	<b>M09a</b> SoHO/EIT によるダークフィラメントおよび周辺の構造と変化 ○吉楽高夫、内田 豊、羽賀良太郎、宮脇 崇 (東京理科大/名大 STE 研)	3/28 (水)	
14:45	<b>M10a</b> 浮上磁場により進化する活動領域コロナ ○久保雅仁 (東大理)、清水敏文、常田佐久 (国立天文台)、B. W. Lites (HAO/NCAR)、T. Tarbell (LMSAL)	09:30	<b>M19a</b> 大フレア発生前に発見された彩層底部の加熱現象 ○黒河宏企、王同江、石井貴子 (京大理)、Richard Shine (ロッキード太陽研究所)
		09:45	<b>M20a</b> Flare Activity in Emerging Flux Regions in the Active Region NOAA 9236 ○石井貴子、黒河宏企、北井礼三郎 (京大理)

3/28(水)	3/28 (水)
<p>10 : 00 <b>M21a</b> The Evidence for Kink Instability to a <math>\delta</math>-spot Collapse            ○ T. Wang, H. Kurokawa, T. T. Ishii (京大理), R. Shine (Lockheed Solar Labs)</p>	<p>14 : 30 <b>M33a</b> 太陽 X 線ジェットの数値関数的密度分布の起源            ○ 森本太郎, 柴田一成 (京大理), 下条圭美, 横山央明, 工藤哲洋 (国立天文台)</p>
<p>10 : 15 <b>M22a</b> 太陽コロナのアーケード生成における dawn-dusk asymmetry            ○ 磯部洋明, 柴田一成, 町田 忍 (京大理)</p>	<p>14 : 45 <b>M34a</b> 太陽コロナ速度場観測でえられたフレア            ○ 山崎高幸 (明星大), 一本 潔 (国立天文台), 青木恭一郎 (明星大 OB), 乗鞍コロナ観測所チーム</p>
<p>10 : 30 <b>M23a</b> Hard X-ray Two-Ribbon Flare            ○ 増田 智 (名大 STE 研), 小杉健郎 (宇宙研), H. Hudson (SPRC)</p>	<p>15 : 00 <b>M35a</b> CME とコロナルホールが発生位置に関する法則            ○ 斎藤尚生 (東北大理・OB), 柴田一成 (京大理), K. P. Dere (NRL)</p>
<p>10 : 45 <b>M24a</b> High-Energy Gamma Rays above 10 MeV in the 1997 November 6 Flare            ○ M. Yoshimori, K. Suga, S. Nakayama, H. Takeda, T. Ogawa (Rikkyo University)</p>	<p>15 : 15 <b>M36a</b> 光球下からの孤立捻れ磁束管浮上—3次元 MHD 数値シミュレーションによるアプローチ: コロナ中での進化—            ○ 宮腰剛広 (総研大), 横山央明, 下条圭美 (国立天文台), 柴田一成 (京大理)</p>
<p>11 : 00 <b>M25a</b> 電波および硬 X 線でとらえるフレアの非熱的粒子加速—98 年 11 月 10 日のフレアの多波長解析            ○ 浅井 歩, 磯部洋明 (京大理), 森本太郎 (花山天文台), 下条圭美, 横山央明, 中島 弘, 柴崎清登 (国立天文台野辺山)</p>	<p>15 : 30 <b>M37a</b> Propagation of MHD Blasts in the Solar Outer Atmosphere — Moreton Waves, EIT Waves and Halo-type CMEs            ○ R. Cameron, Y. Uchida (SUT)</p>
<p>11 : 15 <b>M26a</b> マイクロバースト強度変動の周波数解析            ○ 柴崎清登 (国立天文台野辺山)</p>	<p>15 : 45 <b>M38a</b> アルフヴェン波による太陽浮上磁気ループ中のコロナ生成            ○ 森安聡嗣 (京大), 横山央明, 工藤哲洋 (国立天文台), 嶺重 慎, 柴田一成 (京大)</p>
<p>11 : 30 <b>M27a</b> 野辺山電波ヘリオグラフによる非熱的電波源の超高速伝播の発見            ○ 横山央明, 中島 弘, 柴崎清登 (国立天文台)</p>	<p>.....</p>
<p>11 : 45 <b>M29b</b> 野辺山電波ヘリオグラフによるフレア非熱電子分布関数べき指数の空間分布についての統計的研究            ○ 横山央明, 中島 弘, 柴崎清登 (国立天文台)</p>	<p>ポスターのみ</p>
<p><b>M30b</b> X クラスフレアにおける熱的非熱的成分の生成            ○ 中島 弘, 横山央明 (国立天文台)</p>	<p><b>M28c</b> フレアの多波長解析: 1999 年 8 月 20 日 23 時 06 分 UT のイベント            ○ 秋田 亨 (大院大), 柴崎清登 (国立天文台), 山崎高幸 (明星大), 勝川行雄 (東大), 宮腰剛広 (総研大)</p>
<p><b>M31b</b> 1999 年 8 月 11 日の皆既日食における内部コロナの温度構造について            ○ 武田 秋 (SPRC/ISAS), 上野 悟, 黒河宏企, 北井礼三郎 (京大理)</p>	<p>.....</p>
<p><b>M32b</b> Particle Acceleration in Interplanetary Shocks: Classification of Energetic Particle Events and Modeling            ○ 田 光江 (通総研平磯), 吉田龍生 (茨城大理), 山下和之 (千葉大総情セ)</p>	<p>.....</p>

## N. 恒星 (F 会場)

3/26 (月)		3/26 (月)	
10:00	<b>N01a</b> 超新星ニュートリノと三代ニュートリノ振動 渡辺万里子 (東大理)、戸谷友則 (国立天文台)、○佐藤勝彦 (東大理)	12:00	<b>N13b</b> 相対論星における r-mode 解析の可能性 ○鷹野重之 (東大総合文化)、吉田慎一郎 (SISSA)、江里口良治 (東大総合文化)
10:15	<b>N02a</b> r-過程元素合成におけるニュートリノ過程と軽い中性子過剰核の役割 ○寺澤真理子 (東大理)、K. Langanke (Aarhus 大)、梶野敏貴 (NAO)、住吉光介 (沼津高専)、G. Mathews (Notre Dame 大学)、谷畑勇夫 (理研)	3/27(火)	
10:30	<b>N03a</b> 超新星 r 過程におけるニュートリノ捕獲反応 ○和南城伸也、玉村雅也、伊藤直紀 (上智大理工)、野澤 智 (城西大)	09:30	<b>N14a</b> ガンマ線バーストの Supranova Model における高エネルギー放射について ○井上 進 (国立天文台)、Dafne Guetta、Franco Pacini、Marco Salvati (Osservatorio Astrofisico di Arcetri)
10:45	<b>N04a</b> Ia 型超新星の光度曲線 - 非球対称性の効果 ○岩本弘一 (日大理工)	09:45	<b>N15a</b> ニュートリノによって加熱される Fireball の進化 ○浅野勝晃、岩本静男 (阪大理)
11:00	<b>N05a</b> The Spectroscopic Diversity of Type Ia Supernovae ○秦野和人 (東大理)、David Branch (U. of Oklahoma)	10:00	<b>N16a</b> Microlensing of collimated Gamma-Ray Burst afterglows ○井岡邦仁 (京大理)、中村卓史 (京大基研)
11:15	<b>N07a</b> Implications of the Discovery of Millisecond Pulsar in SN 1987A ○長滝重博、佐藤勝彦 (東大理)	10:15	<b>N17a</b> ガンマ線バーストのパワースペクトル - 巾則の起源 - ○鈴木素子、森川雅博 (お茶大理)、城市 泉 (帝京大)
11:30	<b>N08a</b> Vortex Configurations, Oscillations and Pinning in Neutron Star Crusts ○平澤昌樹、柴崎徳明 (立教大理)	10:30	<b>N18a</b> ガンマ線バーストの残光放射域における電子分布の時間発展と残光の時間減衰 高山恵美、森川雅博 (お茶大理)、○城市 泉 (帝京大理工)
11:45	<b>N09b</b> 超新星残骸 G296.5+10.0 中心天体 1E1207.4 - 5209 の ASCA による観測 ○笠原伸悟、柴田晋平 (山形大)、鳥居研一 (NASDA)、衣笠健三 (ぐんま天文台)、河合誠之 (理研)、斉藤芳隆 (ISAS)	10:45	<b>N19a</b> X 線 afterglow 中の Radiative Recombination Edge ○米徳大輔、村上敏夫 (宇宙研)、政井邦昭 (都立大)、吉田篤正、白崎裕二 (理研)
	<b>N10b</b> X 線連星バルサー Cen X-3 の非周期的短時間変動の研究 ○幸村孝由、北本俊二 (阪大理)、鳥居研一 (NASDA)	11:00	<b>N20a</b> 矮新星 EG Cnc の再増光現象と降着円盤の粘性 ○尾崎洋二 (長崎大)、F. Meyer、E. Meyer-Hofmeister (Max-Planck-I. Astrophysik)
	<b>N11b</b> 中性子星表面層におけるヘリウム・フラッシュ ○黒水玲子、小池 修、橋本正章 (九大)、荒井賢三 (熊大理)、藤本正行 (北大)	11:15	<b>N21a</b> WZ Sge 型矮新星 RZ Leo のスーパーアウトバーストの測光観測 ○石岡涼子、加藤 太一、植村 誠、岩松英俊 (京大理)、鳥居研一 (筑波宇宙センター)、R. Mennickent (Concepcion 大)、J. Pietz、R. Novak、G. Masi、B. Martin、S. Kiyota、G. W. Billings、A. Oksanen、R. Stubbings (VSNET collaboration team)
	<b>N12b</b> 降着とエネルギー抽出によるブラックホールの質量・角運動量変化 ○阿部純也 (茨城大理工)		

3/27 (火)	3/27 (火)
<p>11:30 <b>N22b</b> 激変星 V550 Cyg の photometry 同定            ○岩松英俊、加藤 太一、松本 桂、植村 誠 (京大理)、山岡 均 (九大理)、Jochen Pietz (VSNET Collaboration team)</p>	<p>14:30 <b>N32a</b> VY Scl 型激変星 V425 Cas の特異な短周期変動            ○加藤太一、植村 誠 (京大理)、Timo Kinnunen (VSNET Collaboration Team)</p>
<p><b>N23b</b> SU UMa 型矮新星 UV Per の 2000 - 2001 年 superoutburst            ○岩松英俊、加藤太一、植村 誠、石岡涼子 (京大理)、鳥居研一 (筑波宇宙センター)、Jochen Pietz、Brian Martin、Gianluca Masi、Denis Buczynski (VSNET Collaboration team)</p>	<p>14:45 <b>N33a</b> 超短時間爆発をおこしたブラックホール候補天体 V4641 Sgr の静穏時における可視測光・分光観測            ○植村 誠、加藤太一、松本 桂 (京大理)</p>
<p><b>N24b</b> Period gap 以下の矮新星 RX J2315.5-3029 の superoutburst            ○石岡涼子、加藤 太一、松本 桂、植村 誠、岩松英俊 (京大理)、R. Stubbings (VSNET collaboration team)</p>	<p>15:00 <b>N34a</b> Dust-Gas Accretion onto a Luminous Object            ○福江 純 (大阪教育大教育)</p>
<p><b>N26b</b> X線新星 XTE J1118+480 の VRI 測光観測            ○本川正美、定金晃三 (大阪教育大教育)</p>	<p>15:15 <b>N35a</b> 超臨界降着円盤による SS433 の光度曲線解析            ○牧井康雄、福江 純 (大阪教育大教育)</p>
<p>11:45 <b>N27b</b> IPN triangulation を受けてのガンマ線バースト残光の捜索            ○山岡 均 (九大理)、植村 誠、加藤太一、石岡涼子、岩松英俊、松本 桂 (京大理)、石井克典、神川 強、古賀雅子 (九大理)</p>	<p>15:30 <b>N36a</b> X線観測によるブラックホール周りの標準降着円盤の検証            ○久保田あや、牧島一夫 (東大理)</p>
<p><b>N28b</b> CI Aql の 2000 年新星爆発: plateau stage と orbital light curve            ○松本 桂、植村 誠、加藤太一 (京大理)、清田誠一郎 (VSOLJ)、川端哲也、綾仁一哉 (美星天文台)</p>	<p>15:45 <b>N37a</b> ポリトロピック・ガスの熱力学と Bondi 解            ○早崎公威、兼古 昇 (北大理)、森田一彦 (道薬科大)</p>
<p><b>N29b</b> 宇宙ジェットモデルの新世紀: 光圧で収束するニューモデル            東條正晴、○福江 純、牧井康雄 (大阪教育大教育)</p>	<p>16:00 <b>N38a</b> Cyg X-1 の時間変動に隠された 1/f 揺らぎノイズの検証とその実態について            ○根来 均 (理化学研)、飛田武幸 (名城大)</p>
<p><b>N31b</b> 超臨界降着円盤を用いた超軟 X線源の光度曲線解析            ○北島悦子、福江 純 (大阪教育大教育)、松本 桂 (京大理)</p>	<p>16:15 <b>N39b</b> 降着流からの時間変動は決定論的か確率論的か?            ○川口俊宏 (京大理)、松元亮治、町田真美 (千葉大理)</p>
	<p><b>N40b</b> emission line eclipse mapping による降着円盤の速度場決定            ○蒔田 誠、嶺重 慎 (京大理)</p>
	<p><b>N41b</b> スリムディスクの粘性とその観測的示唆            ○渡會兼也、嶺重 慎 (京大理)</p>
	<p><b>N42b</b> 『あすか』による SS 433 連星周期観測 II            ○並木雅章、河合誠之 (理研)、小谷太郎 (NASA/GSFC)</p>

3/28 (水)		3/28 (水)	
09:30	<b>N43a</b> 褐色矮星の大気構造とその観測特性 IX. L型及びT型矮星の統一モデル ○辻 隆 (東大理)	11:45	<b>N52b</b> GA/NNによる天体時系列データの解析 ○相川利樹 (東北学院大)
09:45	<b>N44a</b> 惑星を持つ恒星の分光学的研究プロジェクト I. 予備観測結果 ○竹田洋一 (駒沢大文)、神戸栄治 (防衛大地)、佐藤文衛 (東大理)、泉浦秀行、渡辺悦二、柳澤顕史 (国立天文台岡山)、増田盛治 (京大理)、安藤裕康 (国立天文台ハワイ)、他		<b>N53b</b> 短周期振動星を含むアルゴル系の分光観測と候補系の測光観測 ○鳴沢真也 (西はりま天文台)、木村佳代、本川正美 (大阪教育大)、藤井貢 (藤井美星観測所)、神戸栄治 (防衛大学校)、定金晃三 (大阪教育大)、大島 修 (岡山県立鴨方高校)、脇 義文 (西はりま天文台友の会)、森本雅樹 (西はりま天文台)
10:00	<b>N45a</b> 惑星を持つG型星 HD 38529 の化学組成 ○定金晃三、大久保美智子 (大阪教育大)、佐藤 静、長田恭一、比田井昌英 (東海大)、増田盛治 (京大理)、泉浦秀行、小谷野 久、前原英夫、乗本祐慈、岡田隆史、清水康広、浦口史寛、渡辺悦二、柳澤顕史、吉田道利 (国立天文台岡山)		<b>N54b</b> 共生星 Z Andromedae における星周ダストの初検出 ○磯貝瑞希、池田優二 (東北大理)
10:15	<b>N46a</b> 2MASS データベースから検索した特異スペクトラム天体 ○中島 紀 (国立天文台)、柳澤顕史 (岡山天体物理観測所)		<b>N55b</b> 銀河ハローの種族 III の星のカウントの上限 ○官谷幸利 (東大理)、藤本正行 (北大理)、寿岳 潤 (文明研究所)、T. C. Beers (Michigan State Univ.)
10:30	<b>N47a</b> 超金属欠乏 AGB 星における s 過程元素合成 ○岩本信之、梶野敏貴、青木和光 (国立天文台)、G. J. Mathews (Notre Dame 大)、藤本正行 (北大理)	12:00	<b>N56b</b> すばる HDS による金属欠乏星の化学組成解析 ○本田敏志 (総研大)、安藤裕康、青木和光、梶野敏貴、川野元聡、野口邦男 (国立天文台)、定金晃三 (大阪教育大)、比田井昌英 (東海大)、竹田洋一 (駒澤大)、佐藤文衛 (東大)
10:45	<b>N48a</b> すばる/HDS による s-過程元素過剰金属欠乏星の化学組成解析 ○青木和光、安藤裕康、川野元聡、野口邦男 (国立天文台)、本田敏志 (総研大)		<b>N59b</b> 熱及び輻射の複合過程による赤色巨星の星風の理論 ○鈴木 建 (国立天文台、東大理)
11:00	<b>N49a</b> 球状星団の組成異常と物質混合 ○合川正幸、藤本正行、加藤幾芳 (北大理)	14:30	<b>N60a</b> 紫外ベテルギウス像の超解像による解析 ○三浦則明、秋山陽子 (北見工大)、井上求美 (リコーシステム開発)
11:15	<b>N50a</b> R型炭素星と球状星団における恒星の物質混合 ○須田拓馬、藤本正行 (北大理)	14:45	<b>N61a</b> Diffraction-limited speckle interferometry of R CrB at maximum and minimum light ○Keiichi Ohnaka, Thomas Blöcker, Karl-Heinz Hofmann, Nazar R. Ikhsanov, Gerd Weigelt (Max-Planck-Institut für Radioastronomie, Germany)、Yuri Balega (Special Astrophysical Observatory, Russia)、Boris F. Yudin (Sternberg Astronomical Institute, Russia)、Yuri S. Efimov (Crimean Astrophysical Observatory, Ukraina)
11:30	<b>N51a</b> マゼラン雲中間年齢星団における AGB 星の進化 ○中田好一、西田伸二、田辺俊彦 (東大)、I.GLASS (SAAO)		

<p>3/28 (水)</p> <p>15:00 N62a 晩期型巨星彩層における星風生成 — MHD 数値シミュレーション ○木全理恵 (京大理)、工藤哲洋 (国立天文台)、斉藤卓弥 (東大理)、柴田一成 (京大理)</p> <p>15:15 N63a Post-AGB 星の誕生と進化 ○藤井高宏、中田好一 (東大理)</p> <p>15:30 N64a <math>\epsilon</math> Dra の等級変動について ○藤原智子 (京大理)、三好 蕃 (京都産業大理)</p> <p>15:45 N65a <math>\theta</math> Tuc の特異振動と動的潮汐による解釈 ○柴橋博資 (東大理)</p> <p>16:00 N66a アルゴル型 Be 星 CX Dra の星周ガスと質量輸送 ○岩松英俊、平田龍幸、増田盛治 (京大理)</p>	<p>ポスターのみ</p> <p>N06c Spectral Analysis of Type IIb Supernova 1996cb ○Deng Jinsong (東大理)、Qiu Yulei (Beijing Obs)、Hu Jinyao (Beijing Obs)</p> <p>N25c Superhump in TY Psc during Oct - Nov 2000 Superoutburst Chatief Kunjaya (Dept. of Astronomy, ITB, Indonesia and Gunma Astronomical Observatory)、○Kenzo Kinugasa (Gunma Astronomical Observatory)、Ryoko Ishioka, and Taichi Kato (Dept. of Astronomy, Kyoto Univ.)</p> <p>N30c 共通大気を吹き飛ばす降着円盤パワー ○花本圭史、福江 純 (大阪教育大教育)</p> <p>N57c コバルト特異星 HR 5049 の軽元素組成比 ○西村昌能 (京都府立向陽高校)、定金晃三 (大阪教育大)、加藤賢一 (大阪市立科学館)、G. Mathys (ESO)</p> <p>N58c 炭素星 NaD 線波長域スペクトルと C 分類 ○平井正則 (福岡教育大地球学)</p>
--	---

P. 星形成 (A会場)

<p>3/28 (水)</p> <p>09:30 P01a 質量降着期におけるゆらぎの成長 ○花輪知幸、西合一矢 (名大理)、松本倫明 (法政大人間環境)</p> <p>09:45 P02a 原始惑星系円盤における照射加熱の対流不安定性への影響 ○野村英子 (京大理)</p> <p>10:00 P03a Warm molecular layer in protoplanetary disks ○相川祐理 (神戸大学)、Gerd-Jan Zadelhoff (Leiden Observatory)、Ewine F. van Dishoeck (Leiden Observatory)、Eric Herbst (Ohio State Univ.)</p> <p>10:15 P04a 等温分子雲コアにおける星形成効率 ○中野武宣 (京大理)、長谷川哲夫 (国立天文台)</p>	<p>3/28 (水)</p> <p>10:30 P05a 「なんてん」によるオリオンB領域の <math>H^{13}CO^+</math> (J=1-0) 観測 ○青山紘子、水野範和、齋藤弘雄、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p> <p>10:45 P06a オリオン座全体の分子雲分布と大質量星形成: 「なんてん」による広域観測 ○福井康雄、青山紘子、水野範和、吉川奈緒、山本宏昭、大西利和、水野 亮 (名大理)、河村晶子 (国立天文台野辺山)、ほか「なんてん」グループ</p> <p>11:00 P07a 近傍星形成領域における <math>C^{18}O</math> 高密度コアの統計的研究 ○立原研悟 (Max-Planck-Institut für extraterrestrische Physik)、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)、米倉覚則 (大阪府立大総合科学)</p>
---	---

3/28 (水)	3/28 (水)
11:15 P08a おおかみ座領域における「分子雲から離れた位置にあるTタウリ型星」の起源 ○豊田秋一郎(名大理)、立原研悟(MPE)、阿部理平、浅山信一郎、松永健一、大西利和、水野 亮、福井康雄(名大理)	15:00 P16a 超コンパクトHII領域K3-50Aの中間赤外微細構造輝線観測：大質量星集団による励起 ○岡本美子(東大理)、片坐宏一(宇宙研)、山下卓也(国立天文台)、宮田隆志、酒向重行、田窪信也、本田充彦、尾中 敬(東大理)、すばる望遠鏡チーム
11:30 P09b 衝撃波加熱コンドリュール形成における蒸発の効果 ○三浦 均(筑波大自然)、中本泰史(筑波大計算物理)、飯田 彰(筑波大/神戸大)	15:15 P18a CIAOによるLkH $\alpha$ 198のコロナグラフ撮像観測 ○深川美里、大朝由美子(東大)、田村元秀、周藤浩士、林 左絵子、村川幸史(国立天文台)、伊藤洋一(神戸大)
P10b X-ray Emitting Class0 Sourcesの近赤外詳細観測 ○辻本匡弘、小山勝二(京大理)、後藤美和、寺田 宏、小林尚人(国立天文台)、坪井陽子(ペンシルバニア州立大)	15:30 P19a 近赤外3色同時撮像カメラSIRIUSによるCepheus B clusterの観測 ○杉谷光司(名古屋市立大)、田村元秀、中谷秀彦(国立天文台)、永山貴宏、長島千恵、中島 康(名大)、SIRIUS開発チーム、仲野 誠(大分大)、小倉勝男(国学院大)、森田耕一郎(国立天文台野辺山)
P11b Chandra衛星によるRhoOph星形成領域のX線観測II-X線フレアの詳細解析 ○今西健介、小山勝二(京大理)、坪井陽子(ペンシルバニア州立大)	15:45 P20a 中質量前主系列星Herbig Ae/Be星のASCAによる系統観測 ○濱口健二、小山勝二(京大理)、山内茂雄(岩手大人社)、寺田 宏(国立天文台ハワイ)
11:45 P12b T Tauri型星RY Tauriの可視波長域における偏光時間変動 ○秋田谷洋、関 宗蔵(東北大理)	ポスターのみ
11:45 P13b Search for T Tauri Stars in the Cepheus-Cassiopeia region ○立原研悟、R. Neuhäuser、W. Voges、B. König(Max-Planck-Institut für extraterrestrische Physik)、米倉覚則(大阪府立大総合科学)、福井康雄(名大理)	P17c ISO/SWSによるUltracompact HII領域の中間赤外分光観測1 ○度会英教(宇宙研)
14:30 P14a 富士山頂サブミリ波望遠鏡による巨大分子雲M17のCl <sup>3</sup> P <sub>2</sub> - <sup>3</sup> P <sub>1</sub> :809GHz輝線の広域観測 ○伊藤哲也(東大理)、関本裕太郎(国立天文台野辺山)、山本 智(東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ	P21c Chandra衛星によるMonoceros R2 CloudのX線観測 ○河野 誠、浜口健二、小山勝二(京大理)
14:45 P15a 富士山頂サブミリ波望遠鏡によるDR21領域のCl <sup>3</sup> P <sub>2</sub> - <sup>3</sup> P <sub>1</sub> 輝線観測 ○田中邦彦、山本 智、岡 朋治(東大理) 他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ	P22c 若い恒星状天体R MonのH $\alpha$ 輝線の偏光特性 ○松村雅文、濱坂征志(香川大教育)、川端弘治(国立天文台)、秋田谷 洋、池田優二、関 宗蔵(東北大理)、平方伸之(武雄高校)
	P23c NGC1333領域IRAS4の野辺山RRINBOWによる観測 ○堀海貴士、鷹野敏明(千葉大自然科学)、百瀬宗武(茨大理)

## Q. 星間現象 (A会場)

3/26 (月)	3/27 (火)
11:00 Q01a 富士山頂サブミリ波望遠鏡による Orion A 分子雲の $\text{Cl}(^3P_2-^3P_1)$ 広域観測 ○久保井信行 (東大理)、岡 朋治、山本 智、他 富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ	09:30 Q09a 一角獣座に存在するアーク状構造の $^{12}\text{CO}$ スペクトル観測 ○大西利和、浅山信一郎 (名大理)、河村晶子 (国立天文台野辺山)、水野亮、福井康雄 (名大理)
11:15 Q02a 富士山頂サブミリ波望遠鏡による Orion B 分子雲/NGC2024 領域の $\text{Cl}(^3P_2-^3P_1)$ 輝線マッピング観測 ○松尾公大、岡 朋治、山本 智 (東大理)	09:45 Q10a 「なんてん」による $b = -69^\circ$ にある高銀緯分子雲観測 ○山本宏昭、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)
11:30 Q03a オリオン巨大分子雲における Cl の広域分布とその起源 ○池田正史 (東大理)、他 富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ	10:00 Q11a 「なんてん」によるカメレオン座領域の広域 $^{12}\text{CO}$ ( $J=1-0$ ) 観測 ○水野 亮、大西利和、早川貴敬、山口玲子、福井康雄 (名大理)
11:45 Q04a 牡牛座暗黒星雲の Heiles' Cloud 2 (HCL2) 領域における Cl rich cloud の化学組成 ○前澤裕之、山本 智 (東大理)	10:15 Q12a カメレオン座分子雲の一酸化炭素同位体柱密度比 ○早川 貴敬 (名大理)、L. Cambr�esy (IPAC)、水野 亮、福井康雄 (名大理)
12:00 Q05b 富士山頂サブミリ波望遠鏡による NGC1333 領域での $\text{Cl}(^3P_2-^3P_1)$ 輝線の検出 ○岩田充弘 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ	10:30 Q13a 「なんてん」による $^{12}\text{CO}$ ( $J=1-0$ ) 銀河面サーベイ ( $20^\circ < L < 40^\circ$ ) ○森口義明、吉川奈緒、松永健一、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)
Q06b 銀河系中心領域におけるアンモニア輝線観測 ○松山直仁、山下奈緒子、森崎 悟、知識 敦、蒲原龍一、長谷川 渉、楠田智則、中村昌和、前田利久、高根澤隆、廣田朋也、面高俊宏、西尾正則 (鹿児島大理)、半田利弘 (東大理)、宮地竹史 (国立天文台)	10:45 Q14a 「なんてん」による銀河系第4象限の $^{12}\text{CO}$ ( $J=1-0$ ) 観測 ○松永健一、浅山信一郎、青山紘子、豊田秋一郎、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)
Q07b J-Net による W51 水メーザー領域モニター観測 渡辺輝彦、面高俊宏、西尾正則 (鹿児島大)、○今井 裕、笹尾哲夫、亀谷 收、宮地竹史 (国立天文台)、朝木義晴 (宇宙研)、中島潤一 (通総研鹿島)	11:00 Q15a 「なんてん」による LMC の $^{12}\text{CO}$ 高感度観測: 5. シェルによる星形成 ○山口玲子、水野範和、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)
Q08b W43A で発見された非常に絞られた分子ガスジェット ○小原久美子、面高俊宏 (鹿児島大)、今井 裕、笹尾哲夫 (国立天文台)、P. J. Diamond (Jodrell Bank Obs.)	11:15 Q16a 超新星残骸内の硬 X 線 clump: 分子雲 clump での衝撃波加速 ○内山泰伸、佐藤悟朗、高橋忠幸 (宇宙研)
	11:30 Q17a 超新星残骸 G28.6-0.1 の ASCA および Chandra による観測 ○植野 優、馬場 彩、小山勝二 (京大理)、山内茂雄 (岩手大)、海老沢 研 (NASA/GSFC)



3/27 (火)	3/27 (火)
<p>11 : 45 <b>Q18b</b> Taurus-Auriga-Perseus 領域の HI, CO ガスの比較 ○森野潤一、長谷川哲夫 (国立天文台)</p> <p><b>Q19b</b> 「あすか」による超新星残骸 IC 443 の熱的 X 線放射の観測 ○川崎正寛、尾崎正伸、長瀬文昭 (宇宙研)</p> <p><b>Q20b</b> Chandra 衛星による X 線反射星雲 Sgr B2 の高空間分解観測 II ○村上弘志、千田篤史、小山勝二 (京大理)、前田良知 (Penn State 大)、坂野正明 (NASDA)</p>	<p>16 : 15 <b>Q28b</b> Orion A 領域の遠赤外線広域分光マッピング観測 ○中川貴雄、金田英宏 (宇宙研)、芝井 広、T. N. Rengarajan (名大理)、S. K. Ghosh、B. Mookerjea、D. K. Ojha、R. P. Verma (Tata Institute of Fundamental Research, India)</p> <p><b>Q29b</b> ISOCAM による近傍銀河の観測 ○望月治子、尾中 敬、田辺俊彦、根岸武利 (東大理)</p> <p><b>Q30b</b> Dissociative Recombination of <math>H_3^+</math>. II ○田代基慶 (京大物理)、加藤重樹 (京大化学)</p>
<p>14 : 30 <b>Q21a</b> 暗黒星雲 L134N : 2 つの <math>NH_3</math> コアの進化 ○斎藤修二、荒木光典 (福井大)、尾関博之 (宇宙開発事業団)、大石雅寿 (国立天文台)、山本 智 (東大理)</p> <p>14 : 45 <b>Q22a</b> Cloud Cores Interacted with OB Associations in the M16 H II Region ○福田尚也、花輪知幸 (名大理)、杉谷光司 (名市大)</p> <p>15 : 00 <b>Q23a</b> 冷却望遠鏡による大質量星形成領域 M17 の観測 ○安藤 稔、佐藤修二、長田哲也 (名大理)、中屋秀彦 (国立天文台ハワイ)、Ian Glass (南アフリカ天文台)</p> <p>15 : 15 <b>Q24a</b> 高銀緯領域の [CII] 輝線放射分布 ○巻内慎一郎、中川貴雄、松原英雄 (宇宙研)、芝井 広 (名大理)、奥村健市、廣本宣久 (通信総研)、奥田治之 (ぐんま天文台)、他 IRTS チーム</p> <p>15 : 30 <b>Q25a</b> Formation Pumping による水素分子赤外発光スペクトルの理論的予測 ○高橋順子、上原英也 (国立天文台)</p> <p>15 : 45 <b>Q26a</b> 重力収縮する星間雲における水素分子の Formation Pumping 光強度の SPH シミュレーション ○上原英也、高橋順子 (国立天文台)</p> <p>16 : 00 <b>Q27a</b> 大量観測データの自動処理：データマイニングによる未同定線の同定 ○青木賢太郎 (JST)、大石雅寿 (国立天文台)、古畑玲奈、増永良文 (お茶の水大)</p>	<p>ポスターのみ</p> <p><b>Q31c</b> 輻射流体力学の線形波動の伝播の解析 II ○森田一彦 (北海道薬科大)、兼古 昇 (北大理)、外山清高 (北海道情報大)、佐藤哲也 (千歳北陽高校)</p>

## R. 銀河 (D 会場)

3/27 (火)		3/28 (水)	
14:30	<b>R01a</b> 相互作用銀河 NGC 6090 の水素分子輝線撮像 ○菅井 肇 (京大理)、Richard I. Davies (MPE, Germany)、石井元巳 (京大理)、Martin J. Ward (Univ. of Leicester, U.K.)	09:30	<b>R12a</b> 星生成が停止した円盤銀河の分光測光的進化と SO 銀河 ○塩谷泰広 (東北大理)、戸次賢治、W. J. Couch、R. De Propris (Univ. of New South Wales)
14:45	<b>R02a</b> 銀河系内部ディスク領域に対する SiO メーザー探査観測 ○中島淳一 (総研大/NRO)、出口修至 (NRO)、藤井高宏 (東大理)、泉浦秀行 (国天岡山)、亀谷 取 (国天水沢)、中田好一 (東大理)	09:45	<b>R13a</b> 中心部回転曲線の鋭い立ち上がり I: バーなの? 大質量コアなの? ○幸田 仁 (東大理)、和田桂一 (国立天文台)
15:00	<b>R03a</b> 一酸化珪素メーザーを持つ銀河バルジ内の IRAS 源の近赤外線観測 ○出口修至 (国立天文台野辺山)、藤井高宏、松本 茂 (東大理)、中島淳一 (総研大)、P. Wood (ANU)	10:00	<b>R14a</b> 星形成率評価処方へのダストによるライマン連続光減光の影響: 系外銀河の場合 ○井上昭雄 (京大理)
15:15	<b>R04a</b> M31 球状星団の星間赤化とダスト分布 ○家 正則 (国立天文台)、斉藤嘉彦 (東大)	10:15	<b>R15a</b> 矮小銀河のダスト・ガス比—金属量関係のダスト破壊シナリオによる解釈 ○平下博之、田尻愉香、釜谷秀幸 (京大理)
15:30	<b>R05a</b> 局所銀河群の構造と起源 ○沢 武文 (愛知教育大)、藤本光昭 (名大理)	10:30	<b>R16a</b> 亜音速で運動する銀河団銀河の星形成活動 ○田尻愉香、釜谷秀幸 (京大理)
15:45	<b>R06b</b> M51 渦状腕における高密度ガスおよび星生成 ○濤崎智佳、長谷川 隆 (ぐんま天文台)、塩谷泰広 (東北大理)、久野成夫 (NRO)、松下聡樹 (CfA)	10:45	<b>R17b</b> すばる望遠鏡+IRCS による M82 スターバースト領域及び中質量 BH 天体の近赤外観測 ○臼田知史、小林尚人、寺田 宏 (国立天文台ハワイ)、鶴 剛、岩室史秀、原島 隆、舞原俊憲 (京大理)、松本浩典 (MIT)、松下聡樹 (SMA)、川辺良平 (国立天文台)、すばる望遠鏡チーム
	<b>R07b</b> Molecular Gas Properties and Dynamics in the Inner Bar Region of NGC 3627 ○芝塚要公 (東大理)、松下聡樹 (CfA)、河野孝太郎、川辺良平 (国立天文台)		<b>R18b</b> OASIS による Blue Compact Galaxy の近赤外線撮像観測 ○小山陽平、澤田真知子 (東北大理)、山田 亨 (国立天文台)
	<b>R08b</b> 早期型銀河の高密度分子ガス ○久野成夫 (国立天文台)、Vila-Vilaro, B. (SMT0)、西山広太 (スペースガード協会)、徂徠和夫、中井直正 (国立天文台)		<b>R19b</b> 南北 HDF 及び ESO Imaging Survey に基づくフィールド銀河の光度進化の研究 ○古澤久徳、嶋作 一大 (東大理)
16:00	<b>R10a</b> 赤方偏移率—後退速度関係の再検討 (その 4: 絶対静止系の存在を仮定した場合) ○阿武靖彦 (—)		<b>R20b</b> The Luminosity Function of IRAS PSCz Galaxies ○Tutomu T. Takeuchi (Nagoya Univ.), Kohji Yoshikawa, Takako T. Ishii (Kyoto Univ.)
16:15	<b>R11a</b> 太陽近傍の星形成史 ○伊吹山秋彦、有本信雄 (東大理)	11:00	<b>R21b</b> 星間塵からの遠赤外線放射スペクトルを用いた IRAS 銀河の系統的研究 ○永田洋久、芝井 広、竹内 努 (名大理)、奥村健一 (通信総研)、尾中 敬 (東大理)

3/28 (水)	3/28 (水)
<p><b>R22b</b> 銀河合体による dusty starburst と E+A 銀河の形成・進化 ○塩谷泰広 (東北大理)、戸次賢治、W. J. Couch (University of New South Wales)</p>	<p>14 : 30 <b>R32a</b> Subaru/XMM-Newton Deep Survey ○関口和寛、高田唯史、Chris Simpson、小杉城治、秋山正幸、本原顕太郎、大山陽一、小宮山 裕、佐々木敏由紀 (国立天文台ハワイ)、家 正則、山田亨、柏川伸成、吉田道利、宮崎 聡、今西昌俊、鍛冶澤 賢、田中 竜、川端弘治 (国立天文台)、岡村定矩、土居守、大内正己、仲田史明、古澤久徳、宮崎真行、児玉忠恭、嶋作一大、川崎涉、斎藤嘉彦 (東大)、青木賢太郎 (科学技術振興財団)</p>
<p><b>R23b</b> SED でみるスターバースト銀河の多様性 : IUE, IRAS and SCUBA Objects ○高木俊暢 (立教大理)、有本信雄 (東大理)、花見仁史 (岩手大入文)</p>	<p>14 : 45 <b>R33a</b> 硬 X 線を用いた銀河系バルジの観測 ○国分紀秀、牧島一夫 (東大理)、山内茂雄 (岩手大)、坂野正明 (NASDA)、海老沢 研 (NASA/GSFC)</p>
<p><b>R24b</b> 中心部回転曲線の鋭い立ち上がり II : Rainbow による NGC3079 の観測 ○幸田、祖父江 (東大理)、河野、奥村、本間、河村 (国立天文台)、Judith A. Irwin (Queen's Univ.) &amp; Rainbow チーム</p>	<p>15 : 00 <b>R34a</b> 「あすか」による M31 の観測 (2) ○高橋弘充、岡田 祐、牧島一夫 (東大理)</p>
<p>11 : 15 <b>R25b</b> 球状星団の進化に対する潮汐ショックの影響 ○高橋広治 (東大理)、Hyung Mok Lee (Seoul)、Oleg Y. Gnedin (Cambridge)</p>	<p>15 : 15 <b>R35a</b> The detection of X-ray halo beyond galaxy scale around NGC 6034 ; a "naked central dominant galaxy" ○吉岡 努、古澤彰浩、秋本文江、田原 譲、佐藤紳司、山下広順 (名大理)、渡辺 学 (宇宙研)、隈井泰樹 (熊本学園大)</p>
<p><b>R27b</b> 偏心ディスクとダークハロー間の力学的摩擦の効果 ○出田 誠 (京大理)</p>	<p>15 : 30 <b>R36a</b> 渦巻銀河 IC 342 中の大光度 X 線源の「あすか」による観測 ○杉保昌彦、久保田あや、古徳純一、牧島一夫 (東大理)、水野恒史 (広大理)</p>
<p><b>R28b</b> 銀河中心領域の X 線大局構造 (V) — X 線天体カタログ ○坂野正明 (NASDA)、小山勝二、村上弘志 (京大物理)、前田良知 (Pennsylvania 州立大)、山内茂雄 (岩手大)、「あすか」銀河面・銀河中心サーベイチーム</p>	<p>15 : 45 <b>R37a</b> 超巨大ブラックホールの作り方 ○戎崎俊一 (理化学研)、牧野淳一郎 (東大理)、鶴 剛 (京大理)</p>
<p><b>R29b</b> X 線衛星あすかによる SMC サーベイ観測 ○横川 淳、今西健介、辻本匡弘、西内満美子、小山勝二 (京大理)、長瀬文昭 (宇宙研)、Robin Corbet (NASA/GSFC)、鳥居研一 (NASDA)</p>	<p>.....</p>
<p>11 : 30 <b>R30a</b> すばる OHS を用いた ERO の近赤外分光観測 ○鳥 尚徳、岩室史英、舞原俊憲、田村直之、衛藤 茂、太田耕司 (京大理)、本原顕太郎 (国立天文台ハワイ)、G. B. Dalton, L.A.Moustakas (U. Oxford)、OHS/FMOS グループ</p>	<p>ポスターのみ</p> <p><b>R09c</b> 乙女座銀河団銀河中心部の CO (1-0) 観測 : gas core 構造と質量集中 ○高宮 務、祖父江義明 (東大)、野辺山干渉計長期共同利用グループ</p>
<p>11 : 45 <b>R31a</b> Hyper-Extremely Red Objects (HEROs) in the Subaru Deep Field: Evidence for Primordial Elliptical Galaxies in Dusty Starburst Phase ○戸谷友則 (国立天文台)、吉井 譲 (東大理)、岩室史英、舞原俊憲 (京大理)、本原顕太郎 (国立天文台)</p>	<p><b>R26c</b> 球状星団の進化に伴う color gradient の成長について ○島田正章 (名古屋短大)、高橋広治 (東大理)</p>

## S. 活動銀河核 (D会場)

3/26 (月)		3/27 (火)			
10:00	S01a	活動銀河核の3-5 $\mu\text{m}$ の色一凝集によるダストサイズの増加? ○今西昌俊 (国立天文台)	09:30	S15a	ASCA衛星を用いたTeVレーザーの時間変動の長期連続観測 ○谷畑千春 (宇宙研)、C. Megan Urry (STScI)、高橋忠幸 (宇宙研)、片岡淳 (京大理)、Stefan Wagner (LSW)
10:15	S02a	BL Lac object 0716+714の可視領域での偏光、測光観測 ○中尾信明、吉田勝一、大杉節 (広島大理)	09:45	S16a	「あすか」によるBL Lacertaeの光度変動の観測 ○田代 信 (埼玉大理)、谷畑千春、高橋忠幸 (宇宙研)、窪 秀利 (東工大理)、牧島一夫、杉保昌彦 (東大理)、
10:30	S03a	GPS電波源0248+430の中心核同定と自由一自由吸収 ○亀野誠二、井上 允 (国立天文台)、沈志強、澤田-佐藤聡子、輪島清昭 (宇宙研)	10:00	S17a	Chandra衛星によるM51の観測: 中心核とアウトフロー ○寺島雄一 (NASA/GSFC)、Andrew S. Wilson (メリーランド大)
10:45	S04a	セイファート銀河NGC 5033のミリ波電波コア ○土居明広 (東大理)、亀野誠二、河野孝太郎 (国立天文台)	10:15	S18a	Seyfert 1型銀河NGC5548の観測で得られたX線連続成分と鉄K輝線の強度の相関 ○幅 良統、古澤彰浩、岡島 崇、山下廣順 (名大理)、見崎一民、國枝秀世 (宇宙研)
11:00	S05a	VSOP Observations of the TeV gamma-ray source Mkn501 ○Philip Edwards (ISAS)、G. Giovannini (CNR)、H. Hirabayashi (ISAS)	10:30	S19a	重力レンズ多重像を持つBALクエーサーH1413+117のX線観測 ○大島 泰、満田和久、太田直美、二元和朗 (宇宙研)、服部 誠 (東北大)、池辺 靖 (MPE)、J. P. Kneib (OMT)、J. M. Miralles (ESO)
11:15	S06a	DIVAS — Deep Interferometric VSOP-Arecibo Survey ○平林 久 (宇宙研)、J. Ulvestad (NRAO)、L. Gurvits (JIVE)、P. Edwards (ISAS)、D. Murphy (ISAS/JPL)	10:45	S20a	巨大ブラックホール—銀河バルジ関係とクエーサー形成に関する輻射流体力学機構の提唱 ○梅村雅之 (筑波大計算物理)
11:30	S07a	アンドロメダ星雲より到来するデカメーターパルス群の電波源位置の決定 — 超巨大ブラックホール起源デカメーター電波の究明 ○大家 寛 (福井工大)、飯島雅英 (東北大)	11:00	S21a	Starburst輻射によるObscuring Wall形成: 理論モデルと観測の比較 ○大須賀 健 (筑波大物理)、梅村雅之 (筑波大計算物理)
11:45	S08b	熱的赤外線を用いた、2型AGNの吸収ダストの存在位置の識別: ダストトラス v.s. 母銀河中のダスト ○今西昌俊 (国立天文台)	11:15	S22a	Relativistic outflow of pair plasma ○岩本静男、高原文郎 (阪大理)
	S09b	GPS天体におけるFRMの非対称分布について ○武藤睦美、浅田圭一 (東京理大理)、井上 允、亀野誠二 (国立天文台)	11:30	S23a	AGNジェットにおけるヘリカル構造 III ○中村雅徳、内田 豊、廣瀬重信 (東京理科大学)
	S11b	「あすか」による電波銀河4C73.08観測 ○磯部直樹、牧島一夫 (東大理)、田代 信 (埼玉大理)、金田英宏、伊予本直子 (宇宙研)	11:45	S24a	ブラックホールへの降着流中における衝撃波形成のシミュレーション ○青木成一郎 (東大理)、小出真路 (富山大工)、工藤哲洋 (国立天文台)、柴田一成 (京大理)
12:00	S13b	Microlensing of Inhomogeneous Accretion Disk in Quasar ○高橋芳太、米原厚憲、嶺重 慎 (京大理)			
	S14b	降着円盤での対生成とジェット形成 (非定常現象) ○山崎達哉、高原文郎 (阪大理)、楠瀬正昭 (関西学院大理)			
				ポスターのみ	
				S10c	Superluminal motion in a compact steep spectrum radio source 3C 138 ○Shen Zhi-Qiang (ISAS)、Jiang D. R. (Shanghai Obs.)、Kameno Seiji (NAOJ)、Chen Y. J. (Shanghai Obs.)

## T. 銀河団 (E会場)

3/26 (月)		3/26 (月)	
10:00	<b>T01a</b> 銀河団ガスの preheating モデルの妥当性について ○山田雅子、藤田 裕 (国立天文台)	11:45	<b>T11b</b> 放射冷却を考慮した自己重力ガス雲の自己相似解 ○内田修二、吉田龍生 (茨城大理工)
10:15	<b>T02a</b> 宇宙論的に見た銀河団銀河の Ram-Pressure Stripping ○藤田 裕 (国立天文台)		<b>T12b</b> 魚座 - ベルセウス座超銀河団の銀河の向きの分布 ○勝野由夏 (東北大理)、中本 亮 (東北大理、河北新報)、市川 隆 (東北大理)、渡辺 大 (科学技術振興事業団)
10:30	<b>T03a</b> Effects of Formation Epoch Distribution on X-Ray Luminosity and Temperature Functions of Galaxy Clusters ○榎 基宏 (阪大理/国立天文台)、高原文郎 (阪大理)、藤田 裕 (国立天文台)		<b>T13b</b> Matched Filter を用いた銀河団候補天体抽出 ○中平勝子、池内 了 (名大理)
10:45	<b>T04a</b> 銀河団中の高温プラズマにおける熱制動放射の全放射率 ○坂本 強、草野秀剛、伊藤直紀 (上智大理工)、野澤 智 (城西短大)、神山泰治 (富士総研)		<b>T14b</b> 光学観測データからの銀河団検出法の相互比較、(MF, maxBCG, VTT, CE) ○後藤友嗣、関口真木 (東大宇宙線研)
11:00	<b>T05a</b> 銀河団内宇宙線による $\gamma$ 線背景放射 ○椿 信也 (東大理)、北山 哲 (都立大理)、佐藤勝彦 (東大理)		
11:15	<b>T06a</b> 銀河群からの硬 X 線放射の観測 ○中澤知洋 (東大理)、深沢泰司 (広大理)、牧島一夫 (東大理)、松下恭子 (MPE)		<b>3/27 (火)</b>
11:30	<b>T07b</b> 銀河団からの硬 X 線放射の時間進化 ○滝沢元和 (山形大理)	09:30	<b>T15a</b> ASCA・ROSAT 衛星による 80 個の遠方銀河団の系統的な解析 ○太田直美、満田和久 (宇宙研)
	<b>T08b</b> Statistical property of a new X-ray flux limited sample of clusters of galaxies ○池辺 靖、Thomas Reiprich、Hans Böhringer (MPE)、田中靖郎 (MPE、宇宙研)	09:45	<b>T16a</b> 銀河団の BCG (Brightest Cluster Galaxy) と高温ガスの特性 ○片山晴善、林田 清 (阪大理)
	<b>T09b</b> 「あすか」によるベルセウス座銀河団の温度・重元素の 2 次元構造 ○古庄多恵、山崎典子、大橋隆哉 (都立大理)、柴田 亮 (宇宙研)、江澤 元 (天文台野辺山)	10:00	<b>T17a</b> Chandra 衛星による超過吸収銀河団 2A0335+096 の吸収分布の測定 ○深沢泰司 (広大理)、中澤知洋、牧島一夫 (東大理)
	<b>T10b</b> XMM 衛星による M87 の観測 ○松下恭子、H. Böhringer (MPE)、E. Belsole、J. Kennea、S. Molendi、D. M. Worrall、R. F. Mushotzky、M. Ehle、M. Guainazzi、I. Sakelliou、G. Stewart、W. T. Vestrand	10:15	<b>T18a</b> アークの統計 森川浩二、○服部 誠 (東北大理)
		10:30	<b>T19a</b> 局所ボイドの構造と宇宙の加速的振舞い ○富田憲二 (京大基研)

U. 宇宙論 (B会場)

3/28 (水)		3/28 (水)	
11:15	<p><b>U01b</b> 宇宙背景輻射の非等方性による密度ゆらぎの初期スペクトルの再構築 ○松宮 慎、佐々木 節、横山順一 (阪大理)</p> <p><b>U02b</b> 密度揺らぎ場のフィルタリングとダークハローの質量関数 ○長島雅裕 (国立天文台)</p> <p><b>U03b</b> クェーサーによる宇宙の再イオン化における物質分布の非一様性の効果 ○川崎照夫 (千葉大自然)、山下和之 (千葉大総情セ)</p> <p><b>U04b</b> 牛かい座空洞領域における青い銀河の検出 ○田辺健茲 (岡山理科大)、川端善仁 (鴨方高校)、前原英夫 (国立天文台岡山)、山田 亨 (国立天文台)、R.Stobie (南ア・ケープ天文台)</p>	15:00	<p><b>U13a</b> Predicting the Genus Statistics for Galaxy Clusters: Comparison with Hubble Volume Simulations ○日影千秋、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)</p>
		15:15	<p><b>U14a</b> ダークマターの特異速度統計とハローの密度プロファイル ○桑原 健、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)</p>
11:30	<p><b>U08a</b> ビックバン元素合成による Quintessence および K-essence model への制限 折戸 学、梶野敏貴 (国立天文台)、八尋正信 (琉球大物理)、○市来淨興 (東大理) G. J. Mathews (Notre Dame 大)</p>	15:30	<p><b>U15a</b> 質量密度ゆらぎの確率分布関数 ○加用一者、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)</p>
11:45	<p><b>U09a</b> COBE 宇宙背景放射マップにおける非ガウシアン温度ゆらぎの測定 ○小松英一郎 (東北大理、プリンストン大)、David N. Spergel (プリンストン大)</p>	15:45	<p><b>U16a</b> 非ガウスモデルでのパワースペクトルの弱非線形進化 ○瀬戸直樹 (阪大理)</p>
12:00	<p><b>U10a</b> 相対論的補正は、マイクロレンズ増光に影響するか? 蝦名淳也、大菅岳陽、○浅田秀樹、葛西真寿 (弘前大理工)</p>	16:00	<p><b>U17a</b> Inhomogeneities in Newtonian Cosmology and Evolution of Density Perturbation ○須田桃子、立川崇之、前田恵一 (早大理工)、窪谷浩人 (神奈川大工)</p>
		16:15	<p><b>U18a</b> Lagrange 的近似による構造形成と圧力の効果 ○立川崇之、須田桃子、前田恵一 (早大理工)、森田正亮 (お茶大理)、安西浩樹 (NTT)</p>
		.....	
		ポスターのみ	
14:30	<p><b>U11a</b> Feasibility of a geometric test from QSO clustering statistics ○山本一博、西岡宏朗 (広大理)、樽家篤史 (東大理)</p>		<p><b>U05c</b> Generalization of the Distant-Observer Multipole Correlation Functions on a Light Cone to the Radial Redshift-Space Distortions ○西岡宏朗 (広島大理)</p>
			<p><b>U06c</b> CMB ANISOTROPY IN SCALAR-TENSOR COSMOLOGICAL MODEL ○永田 竜、千葉 剛 (京大理)、杉山直 (国立天文台)</p>
14:45	<p><b>U12a</b> Clustering of QSO Absorption System on a Light-cone ○樽家篤史 (東大理)、山本一博 (広大理)</p>		<p><b>U07c</b> 可変宇宙項の Recombination への影響 ○迫田数貴、木村和登、橋本正章 (九大)、荒井賢三 (熊大理)</p>

## V. 地上観測機器 (G会場)

3/26 (月)		3/26 (月)	
10:00	<b>V01a</b> ALMA サイト調査 — Pampa La Bola と Llano de Chajnantor の比較 ○阪本成一 (国立天文台)、ほか ALMA サイトワーキンググループ		<b>V10b</b> ASTE (ALMA)4K デュワー用熱スイッチの開発 ○鈴木和司、浅山信一郎、水野 亮、水野範和、福井康雄 (名大理)、小川英夫、米倉覚則 (大阪府大)、関本裕太郎、横河創造 (国立天文台野辺山)
10:15	<b>V02a</b> ALMA (ASTE) 用ミリ波受信器の開発 ○小川英夫、米倉覚則 (大阪府大総合科学)、水野 亮、水野範和、鈴木和司、河合利秀、福井康雄 (名大理)、安藤浩哉 (豊田高専)	11:45	<b>V11b</b> ALMA (ASTE)用ストリップライン型ミリ波受信器の開発 ○安藤浩哉 (豊田高専)、小川英夫、米倉覚則 (大阪府大総合科学)、浅山信一郎、水野範和、水野 亮、福井康雄 (名大理)
10:30	<b>V03a</b> ASTE 350 GHz 帯受信機の安定性評価 ○酒井 剛 (東大理)、関本裕太郎、立松健一、河野孝太郎、野口 卓 (国立天文台)、田中邦彦、山本 智 (東大理)、他 ASTE チーム		<b>V12b</b> ASTE10m 鏡搭載 ALMA プロトタイプ受信機の開発 (II) ○横川創造 (総研大/NRO)、関本裕太郎、野口 卓 (NRO)、小川英夫 (大阪府立大)、安藤浩哉 (豊田高専)、他 ASTE グループ
10:45	<b>V04a</b> 低消費電力 800GHz 受信機の開発 ○立松健一、関本裕太郎、野口 卓 (国立天文台) 神庭利彰 (三菱特機)、佐藤敏美 (住友重機) 麻生善之、山本 智 (東大)、稲谷順司 (NASDA)、18cm 鏡グループ	.....	
11:00	<b>V05a</b> 野辺山ミリ波干渉計による 350GHz 帯干渉実験の成功 ○河野孝太郎、岩下浩幸、高橋敏一、中島 潔、中西康一郎、関本裕太郎、芝塚要公、横川創造、阪本成一、川辺良平 (国立天文台野辺山)、他野辺山ミリ波干渉計グループ	3/27 (火)	
11:15	<b>V06a</b> 新 10m サブミリ波望遠鏡 — ホログラフィ法による鏡面の高精度化 ○山口伸行、浮田信治、江澤 元、河野孝太郎 (国立天文台 野辺山)、ASTE チーム	09:30	<b>V14a</b> VERA 計画、建設の現状と今後 ○小林秀行、笹尾哲夫、川口則幸、真鍋盛二、亀谷 収、宮地竹史、本間希樹、田村良明、柴田克典、堀合幸次、久慈清助、佐藤克久、岩館健三郎、武士保健、今井 裕、井口 聖、澤田一佐藤聡子、高根沢 隆、酒井 利、横山紘一 (国立天文台)、面高俊宏、西尾正則、広田朋也 (鹿児島大理)、坪井昌人 (茨城大理)、春日 隆 (法政大工)
11:30	<b>V07b</b> ALMA (ASTE) 用ミリ波光学系の開発 ○木村公洋、小川英夫、米倉覚則 (大阪府大総合科学)、水野 亮、水野範和、福井康雄 (名大理)、安藤浩哉 (豊田高専)	09:45	<b>V15a</b> VERA ギガビットレコーダー ○久慈清助、川口則幸、宮地竹史 (国立天文台)
	<b>V08b</b> ALMA Compact Array による ALMA 広視野観測の高精度化 ○森田耕一郎 (国立天文台野辺山)、Mark Holdaway (NRAO)	10:00	<b>V16a</b> 電波ヘリオグラフ 2 周波光学系改修 — I (概要) ○中島 弘、川島 進、齋藤泰文、関口英昭、篠原徳之 (国立天文台)、鷹野敏明 (千葉大工)
	<b>V09b</b> サブミリ波帯ワイヤーグリッドの開発 ○河合利秀、佐藤利和、水野範和、伊藤雄樹、岩橋弘幸、水野 亮、福井康雄 (名大理)、小川英夫 (大阪府大)、関本裕太郎、河野孝太郎 (国立天文台野辺山)	10:15	<b>V17a</b> 早大 64 素子干渉計における自動観測システム ○竹内 央、大師堂経明 (早大教育)、遊馬邦之 (早大理工総セ)、國吉雅也、後藤健太郎、水野桂寿、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二、梅村朋弘、鶴沢憲、松村寛夫 (早大理工)、田中尚樹 (三菱電気)

3/27 (火)		3/27 (火)	
10:30	<p><b>V18a</b> 空間時間 FFT プロセッサ-信号処理における独立性 ○大師堂経明、遊馬邦之、竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、鈴木智也、水木さおり、水野桂寿、福岡浩二、梅村朋弘 (早稲田大)</p>	11:45	<p><b>V26b</b> 近赤外3色同時撮像カメラ SIRIUS一南アフリカでのファーストライト ○長嶋千恵、永山貴宏、中島 康、加藤大輔、栗田光樹夫、長田哲也、佐藤修二 (名大理)、中屋秀彦 (国立天文台ハワイ)、板 由房、田辺俊彦 (東大理)、杉谷光司 (名古屋市立大)、田村元秀 (国立天文台)</p>
10:45	<p><b>V19a</b> 那須 20m 固定球面鏡アナログ位相スイッチングによるテスト観測 ○国吉雅也、後藤健太郎、水野桂寿、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二、梅村朋弘、鶴沢 憲、松村寛夫 (早大理工)、竹内 央、大師堂経明 (早大教育)、遊馬邦之 (早大理工総セ)</p>		<p><b>V27b</b> マクロレンズアレイを用いた太陽彩層3次元同時分光装置 ○鈴木大輔 (明星大理工)、末松芳法 (国立天文台)</p>
11:00	<p><b>V20a</b> NANTEN の高性能化 鏡面乗せ換え・新光学系 ○小出直久、水野 亮、大西利和、水野範和、山口玲子、森口義明、福井康雄 (名大理)、米倉覚則、小川英夫 (大府大)</p>	14:30	<p><b>V33a</b> BASS 計画: ミリ波広帯域分光観測によるサブミリ波天体の赤方偏移サーベイ ○松原英雄、松浦周二、度會英教 (宇宙研)、松尾 宏 (国立天文台)、J. J. Bock、H. Nguyen (JPL)、J. Zmuidzinas、J. Gromke (Caltech)、J. Glenn (Univ. Colorado)</p>
11:15	<p><b>V21a</b> GPS による電離層推定の精度評価とパルサー VLBI 観測への応用 ○関戸 衛、近藤哲朗、川合栄治、花土ゆう子、今江理人 (通総研)</p>	14:45	<p><b>V34a</b> TAMA300 観測の現状 ○辰巳大輔 (国立天文台)、他 TAMA collaboration (京大基研、高工研、国立天文台、電通大、東大宇宙線研、東大新領域、東大地震研、東大理、阪大理、宮城教育大)</p>
11:30	<p><b>V22b</b> VERA 観測局の建設進捗状況 ○廣田朋也 (鹿児島大理)、VERA グループ</p>	15:00	<p><b>V35a</b> TAMA300 の現状 (8) ○川村静児 (国立天文台)、他 TAMA グループ (京大基研、高工研、国立天文台、電通大、東大宇宙線研、東大新領域、東大地震研、東大理、阪大理、宮城教育大)</p>
	<p><b>V23b</b> 海洋潮汐が VERA 観測局の位置変動に与える影響 ○高根澤 隆 (国立天文台)、寺家孝明 (総研大)、真鍋盛二、田村良明、松本晃治 (国立天文台)</p>	15:15	<p><b>V36a</b> 信号情景解析 ○端山和夫 (東大理)、TAMA グループ</p>
	<p><b>V24b</b> VERA における <math>\Delta \text{sec } z</math> 効果の定量と校正法の検討 ○倉山智春 (東大理)、本間希樹、笹尾哲夫 (国立天文台)、VERA 較正チーム (国立天文台/鹿大理)</p>	15:30	<p><b>V37a</b> スーパーサイネット回線を利用した光結合 VLBI 実験 ○川口則幸、藤沢健太、久慈清助 (国立天文台)</p>
	<p><b>V25b</b> 可搬型 18cm サブミリ波望遠鏡の開発 ○岡 朋治、山本 智、岩田充弘、亀谷和久、松尾公大 (東大物理)、関本裕太郎、立松健一 (国立天文台野辺山)、神庭利彰 (三菱電機)</p>	15:45	<p><b>V38a</b> 三鷹光赤外干渉計 (MIRA-I.2) の試験基線: 初FRINGEへ向けて ○西川 淳、吉澤正則、佐藤弘一、大石奈緒子、福島登志夫、鈴木駿策、鳥居泰男、松田 浩、久保浩一、岩下 光 (国立天文台)、根本善一 (法政大工)、小谷隆行 (東大理)</p>



3/27 (火)	3/28 (水)
<p>16:00 <b>V39b</b> Martin &amp; Puplett 型 Fourier 分光器の開口合成への応用・偏光観測の可能性 ○大田 泉、服部 誠 (東北大理)、松尾 宏 (国立天文台)、柴田行男 (東北大科研)、浜地芳宏、荒井正範、奥田武志、須田浩志 (東北大理)</p> <p><b>V40b</b> SIS 素子と HEMT アンプの直接結合 II ○坪井昌人、松井孝博 (茨城大理)、春日 隆 (法政大工)、大野剛志、阿部安宏 (日本通信機 (株))</p> <p><b>V41b</b> On-the-fly マッピング観測法対応の高速積分器システムの開発 ○亀谷和久、池田正史 (東大理)、尾関博之 (宇宙開発事業団)、藤原英夫 (東大工) 吉田久史 (分子研)、他 富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ</p> <p><b>V42b</b> 三 K プロジェクト: 現状と今後 ○服部 誠、大田 泉、浜地芳宏、荒井正範 (東北大理)、松尾 宏 (国立天文台)、柴田行男 (東北大科研)</p>	<p>09:30 <b>V47a</b> すばる望遠鏡補償光学系ファーストライト ○高見英樹、高遠徳尚、鎌田有紀子、David Saint-Jacques、Wolfgang Gaessler、家 正則 (国立天文台)、早野 裕 (通信総研)、IRCS グループ</p> <p>09:45 <b>V48a</b> すばる望遠鏡用赤外線コロナグラフ CIAO の開発と機能試験観測 ○田村元秀、周藤浩士、村川幸史、林 左絵子、高見秀樹、土井由行 (国立天文台)、伊藤洋一 (神戸大)、深川美里、大朝由美子、直井隆浩 (東大)、海老塚 昇 (理研)</p> <p>10:00 <b>V49a</b> Suprime-Cam の像質 ○宮崎 聡 (国立天文台)、土居 守 (東大理)、高遠徳尚、高田唯史 (国立天文台)、他 Suprime-Cam グループ、すばる望遠鏡グループ</p> <p>10:15 <b>V50a</b> すばる望遠鏡観測装置 FOCAS : I. ハードウェア ○斉藤嘉彦 (東大理)、柏川伸成、吉田道利、清水康広、稲田素子、大山陽一、青木賢太郎、小杉城治、佐々木敏由紀、関口和寛、高田唯史、沖田喜一、川端弘治、家 正則 (国立天文台)、海老塚 昇 (理研)、三澤 透 (東大理)、田口弘子 (東京学芸大)、矢動丸泰、小澤友彦 (みさと天文台)、ほか FOCAS 開発チーム</p>
<p>16:15 <b>V43b</b> 固体異方性媒質を用いたサブミリ波用偏波方向回転素子の検討 ○勘角幸弘、川上洋一、鷹野敏明 (千葉大自然科学)</p> <p><b>V44b</b> 電波ヘリオグラフ 2 周波光学系改修 II : 全面 FSS 型副鏡の詳細 ○関口英昭、川島 進、齋藤泰文、篠原徳之、中島 弘 (国立天文台)、鷹野敏明 (千葉大工)</p> <p><b>V45b</b> 光赤外干渉計 MIRA-I.2 の波面傾斜補正系の開発 ○大石奈緒子、西川 淳、吉澤正則、佐藤弘一、松田 浩、久保浩一、鳥居康男、鈴木駿策、岩下 光 (国立天文台)、小谷隆行 (東大理)</p> <p><b>V46b</b> 30m 基線光赤外干渉計 MIRA-I.2 の建設 (3) ○吉澤正則、佐藤弘一、西川 淳、福島登志夫、鳥居泰男、鈴木駿策、大石奈緒子、松田 浩、久保浩一、岩下 光、David Saint-Jacques (国立天文台)、小谷隆行 (東大理)、根本善一、加倉井明宏 (法政大工)</p>	<p>10:30 <b>V51a</b> すばる望遠鏡観測装置 FOCAS : II. ソフトウェア ○大山陽一、佐々木敏由紀、吉田道利、小杉城治、柏川伸成、青木賢太郎、清水康広、関口和寛、高田唯史、稲田素子、沖田喜一、川端弘治、家 正則 (国立天文台)、斉藤嘉彦、三澤 透 (東大理)、田口弘子 (東京学芸大)、浅井 良 (株 SEC)、海老塚 昇 (理研)、矢動丸泰、小澤友彦 (みさと天文台)、他 FOCAS チーム</p> <p>10:45 <b>V52a</b> すばる望遠鏡観測装置 FOCAS : III. 性能評価 青木賢太郎、大山陽一、柏川伸成、吉田道利、小杉城治、佐々木敏由紀、関口和寛、高田唯史、清水康広、稲田素子、沖田喜一、川端弘治、家 正則 (国立天文台)、斉藤嘉彦、三澤 透 (東大理)、田口弘子 (東京学芸大)、海老塚 昇 (理研)、矢動丸 泰、小澤友彦 (みさと天文台)、浅井 良 (株 SEC)、ほか FOCAS 開発チーム</p>

3/28 (水)	3/28 (水)
<p>11:00 <b>V53a</b> FMOS (すばる望遠鏡主焦点多天体分光器)の開発 I. 観測装置の全体構成・性能と期待される成果                      ○舞原俊憲、太田耕司、田村直之、木村仁彦 (京大理)、秋山正幸 (国立天文台ハワイ)、唐牛 宏、家 正則 (国立天文台)、G.B. Dalton (U. Oxford)、P. Gillingham (AAO)、D. Robertson (U. Durham)、R. Wade (RAL)、および FMOS グループ</p>	<p>14:30 <b>V62a</b> 超伝導トンネル接合素子を用いた近赤外～可視～紫外～極端紫外域の一光子分光検出器の開発 (II)                      ○大谷知行、池田時浩、奥 隆之、川井和彦、佐藤広海、清水裕彦、滝澤慶之、宮坂浩正、渡辺 博 (理研)、仲川 博、赤穂博司、青柳昌宏 (産総研)、田井野徹 (九大工)</p>
<p>11:15 <b>V54a</b> FMOS (すばる望遠鏡主焦点多天体分光器)の開発 II. エキドナ: FMOS 用ファイバーポジショナー                      ○秋山正幸 (国立天文台ハワイ)、Anna Moore、Peter Gillingham (Anglo-Australian Observatory)、舞原俊憲、太田耕司 (京都大学)、FMOS グループ</p>	<p>14:45 <b>V63a</b> ヨードセル観測データ解析用ソフトウェアの開発                      ○佐藤文衛 (東大理)、神戸栄治 (防衛大地)、竹田洋一 (駒沢大)、安藤裕康 (国立天文台)、すばる HDS 開発チーム、岡山 HIDES 製作チーム</p>
<p>11:30 <b>V55a</b> FMOS (すばる主焦点多天体分光器) の開発 III - VPH Grating の冷却特性 -                      ○衛藤 茂、島尚徳、木村仁彦、舞原俊憲、太田耕司 (京大理)、秋山正幸 (国立天文台ハワイ)、FMOS グループ</p>	<p>15:00 <b>V65a</b> 美星スペースガードセンターの観測システムの状況                      浅見敦夫、David Asher、橋本就安、○磯部瑠三、西山広太、大島良明、寺藺淳也、浦田 武、吉川 真 (日本スペースガード協会)、横田孝夫 (日本宇宙フォーラム)、James Mulherein (Torus Engineering Ltd.)</p>
<p>11:45 <b>V56b</b> FMOS (すばる主焦点多天体分光器)の開発 VI. 主焦点ユニットの設計                      ○木村仁彦 (東大理)、舞原俊憲、太田耕司 (京大理)、秋山正幸 (国立天文台)、田村直之 (京大理)、FMOS グループ</p>	<p>15:15 <b>V66a</b> ガンマ線バースト即時分光観測システムの開発                      ○川端哲也、綾仁一哉、五百蔵雅之 (美星天文台)、藤井 貢 (エイアイ設計)、浦田裕次、河合誠之、海老塚 昇 (理化学研)</p>
<p><b>V57b</b> 多天体近赤外線撮像分光装置の開発 I. 2K X 2K HgCdTe 駆動回路                      ○市川 隆 (東大理)、松本大悟 (東大理、三菱電機)、柳澤顕史、西村徹郎、山田 亨、小俣孝司 (国立天文台)、大當美和子、鈴木竜二、浅井研一郎、東谷千比呂 (東大理)、伊藤信成 (東大木曽観測所)、MOIRCS 開発チーム</p>	<p>15:30 <b>V67a</b> ガンマ線バースト即時自動観測システム RIBOTS 3                      ○浦田裕次、河合誠之、吉田篤正、小浜光洋 (理研)、綾仁一哉、川端哲也 (美星天文台)、小坂浩三 (玉島高校)</p>
<p><b>V58b</b> 多天体近赤外線撮像分光装置の開発 II. 光学系の設計                      ○鈴木竜二、市川 隆 (東大理)、西村徹郎 (国立天文台ハワイ)、MOIRCS 開発チーム</p>	<p>15:45 <b>V68a</b> 南アフリカ天文台に設置した口径 1.4m 経緯儀望遠鏡の性能評価                      ○加藤大輔、栗田光樹夫、長田哲也、河合利秀、佐藤修二 (名大理)、Ian Glass (南アフリカ天文台)、田中培生 (東大理)、杉谷光司 (名市大)、西村有 二、関 敬之、桑田宗晴、柿本久仁 (西村製作所)</p>
<p><b>V59b</b> COMICS 検出器の駆動方法の改善                      ○酒向重行、岡本美子、宮田隆志、田窪信也、本田充彦、尾中 敬 (東大理)、片ど宏一 (宇宙研)、山下卓也 (国立天文台)</p>	

3/28 (水)	
16:00	<p><b>V69a</b> 南アフリカに設置し観測を開始した名大1.4m望遠鏡  ○長田哲也、中島 康、長嶋千恵、永山貴宏、加藤大輔、栗田光樹夫、河合利秀、佐藤修二 (名大理)、中屋秀彦、田村元秀 (国立天文台)、Ian Glass (南アフリカ天文台)、板由房、田辺俊彦 (東大理)、杉谷光司 (名古屋市大)、関 敬之、桑田宗晴、柿本久仁、西村有二 (西村製作所)</p>
16:15	<p><b>V70a</b> 鹿児島大学光・赤外線望遠鏡計画について  ○面高俊宏、廣田朋也、西尾正則、河南 勝、森崎 悟、前田利久、長谷川 渉 (鹿児島大理)、田中培生 (東大理)、唐牛 宏、笹尾哲夫、小林秀行 (国立天文台)、清水 実 (ぐんま天文台)、奥平敦也 (国際大)</p>
.....	
ポスターのみ	
	<p><b>V13c</b> 3mm波帯導波管マウント型フォトニククミキサの開発  ○上田暁俊、野口 卓、石黒正人、関本裕太郎、高野秀路 (国立天文台)、石橋忠夫 (NTT)</p>
	<p><b>V28c</b> 那須バルサースーベイ電波望遠鏡のSingle Dish観測  ○遊馬邦之、大師堂経明、竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、鈴木智也、水木さおり、水野桂寿、福岡浩二、梅村朋弘 (早稲田大)</p>
	<p><b>V29c</b> スイッチングアンプを用いた、電波望遠鏡の利得ゆらぎ除去システムの開発  ○水野桂寿、大師堂経明、遊馬邦之、竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二、梅村朋弘、松村寛夫、鶴沢 憲 (早稲田大)</p>
	<p><b>V30c</b> ミリ波帯偏波方向変換素子の設計・開発  ○川上洋一、鷹野敏明 (千葉大自然科学)</p>
	<p><b>V31c</b> FPGAを用いた、電波干渉計のPCインターフェイスの開発  ○水野桂寿、大師堂経明、遊馬邦之、竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二、梅村朋弘、松村寛夫、鶴沢 憲 (早稲田大)</p>
	<p><b>V32c</b> 受信部を一体化した2、8GHz観測用の小型共軸給電部の試作 (2)  ○春日 隆、三牧宏彬、中野久松 (法政大学工)</p>
	<p><b>V60c</b> FMOS (すばる望遠鏡主焦点多天体分光器)の開発 V.: 近赤外分光器の概要とファイバーを用いた基礎実験  ○田村直之 (京大理)、秋山正幸 (国立天文台ハワイ)、舞原俊憲、太田耕司、岩田 生、木村仁彦、藤村実代子、持田大作、吉田憲司 (京大理)、FMOSグループ</p>
	<p><b>V61c</b> すばる望遠鏡の観測支援と運用について  ○能丸淳一 (国立天文台ハワイ)</p>
	<p><b>V64c</b> すばるHDS及び岡山HIDES用ヨードセル装置の開発  ○神戸栄治 (防衛大地球)、野口邦男、安藤裕康、泉浦秀行、岡田則夫、渡辺悦二、青木和光、清水康広、川野元 聡 (国立天文台)、和田節子 (電通大)、竹田洋一 (駒沢大)、増田盛治 (京大理)、佐藤文衛 (東大理)、本田敏志 (総研大)、すばるHDS開発チーム、岡山HIDES製作チーム</p>

## W. 飛翔体観測機器 (C会場)

<p>3/27 (火)</p> <p>14:30 <b>W01a</b> ASTRO-F 搭載近赤外線検出器の極低温での性能評価 ○石原大助 (東大理)、他 ASTRO-F IRC チーム</p> <p>14:45 <b>W02a</b> ASTRO-F (IRIS)搭載近中間赤外カメラ光学系の常温における性能評価 ○金字征 (東大理)、前田一平 (都立科学技術大)、松原英雄 (宇宙研)、尾中 敬、根岸武利 (東大理) 他ASTRO-F/IRC チーム</p> <p>15:00 <b>W03a</b> ASTRO-F 搭載ハイブリッド型 Ge : Ga2 次元アレイ 遠赤外線検出器の性能評価 I ○関 弘和、磯崎洋祐、Mikhail A. Patrashin、松浦周二、金田英宏、中川貴雄 (宇宙研)、藤原幹生、廣本 宣久 (通総研)、芝井 広、川田光伸 (名大理)、他ASTRO-F/FIS チーム</p>	<p>3/27 (火)</p> <p>15:45 <b>W10a</b> ASTRO-E 衛星の再挑戦 -- ASTRO-E II 搭載 HXD-II 検出器 ○牧島一夫 (東大理)、釜江常好、深沢泰司 (広大理)、村上敏夫、高橋忠幸 (宇宙研)、田代 信 (埼玉大理)、ほかHXD-II チーム</p> <p>16:00 <b>W11a</b> HETE-2 の初期運用と観測状況 ○吉田篤正、河合誠之、玉川 徹 (理研)、白崎裕治、松岡 勝 (宇宙開発事業団)、山内 誠、高岸邦夫 (宮崎大工)、George R. Ricker 他 HETE-2 チーム</p> <p>16:15 <b>W12b</b> 電波望遠鏡用フィルムレンズアンテナの集光実験 ○氏原秀樹 (総研大)、近田義広 (国立天文台)</p> <p><b>W13b</b> Solar-B 可視光磁場望遠鏡 (SOT)搭載用ピエゾ素子評価試験 II ○永田伸一 (宇宙研)、清水敏文、一本 潔、末松芳法、常田佐久 (国立天文台)、松崎恵一 (宇宙研)、伊藤 修、柏木康弘、三木史朗、田畑真毅、小出来一秀、遠藤 真 (三菱電機)、他可視光望遠鏡開発グループ</p> <p><b>W14b</b> 全天 X 線監視装置 (MAXI) の GSC EM カウンタの性能評価 ○三原建弘、河合誠之、吉田篤正、根来均、桜井郁也 (理研)、松岡 勝、白崎裕治、杉崎 睦、上野史郎、Weimin Yuan (宇宙開発事業団)</p> <p><b>W15b</b> 国際宇宙ステーション搭載全天 X 線モニター (MAXI)用 CCD カメラの開発 ○富田 洋、松岡 勝、上野史郎、坂野 正明、鳥居研一 (NASDA)、常深 博、宮田恵美、夏 莉 権、鎌塚友幸 (阪大理)、上橋雅史 (ICRR)、田中 勲 (総研大)</p>
<p>15:15 <b>W04b</b> FIRBE (Far InfraRed Balloon-borne Experiment)のインドにおけるフライト報告 ○手島隆文、芝井 広、川田光伸、有村 成功、田中 誠、廣岡伸弥、T.N.Rengarajan (名大理)、土井靖生 (東大総文)、成田 正直、中川貴雄、金田英宏、松阪幸彦、S. K. Ghosh (宇宙研)、奥田治之 (ぐんま天文台)、巻内慎一郎 (東大理)、広本 宣久 (通信総研)、R. P. Verma (TIFR)</p> <p><b>W05b</b> ASTRO-F (IRIS)搭載用遠赤外フーリエ分光器の開発 VI ○村上紀子、芝井 広、川田光伸、宇津野博士 (名大理)、高橋英則 (JST / 名大理)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p> <p><b>W06b</b> ASTRO-F 搭載ハイブリッド型 Ge : Ga2 次元アレイ 遠赤外線検出器の性能評価 II ○磯崎洋祐、関 弘和、Mikhail A. Patrashin、松浦周二、金田英宏、中川貴雄 (宇宙研)、藤原幹生、廣本 宣久 (通総研)、芝井 広、川田光伸 (名大理)、他ASTRO-F/FIS チーム</p> <p><b>W07b</b> ASTRO-F 搭載 Ge : Ga 遠赤外線検出器の放射線環境における応答特性 ○金田英宏、赤崎みどり、中川貴雄 (宇宙研)、他 FIS チーム</p>	<p>3/28 (水)</p> <p>09:30 <b>W16a</b> ガンマ線観測衛星 GLAST 搭載 FM 型シリコンストリップの特性試験 ○増田博之、吉田勝一、大杉 節、釜江常好、深沢泰司 (広大理)、半田隆信、E.Silva (SLAC)、H.Sadrozinski (UCSC)</p> <p>09:45 <b>W17a</b> 斜入射 X 線を利用した X 線検出効率較正法 ○林田 清、岡田貴志、堀川貴子、片山 晴善 (阪大理)</p> <p>10:00 <b>W18a</b> XIS 読み出し回路を用いた国産 CCD の性能評価 (II) ○馬場 彩、辻本匡弘、今西健介、河野 誠、村上弘志、濱口健二、鶴 剛、小山 勝二 (京大理)、北本俊二、林田 清、片山晴善、常深 博 (阪大理)</p>
<p>15:30 <b>W09a</b> Solar-B 搭載可視光磁場望遠鏡 (SOT) の設計進捗状況 ○清水敏文、一本 潔、末松芳法、花岡 庸一郎、大坪政司、田村友範、常田佐久 (国立天文台)、永田伸一、松崎恵一、小杉健郎 (宇宙研)、小林 研 (東大理)、三神 泉、斉藤秀朗、伊藤 修、島田貞憲 (三菱電機)、武山芸英、山室智康、榊原 佳子 (ジェネシア)、Solar-B 開発グループ</p>	

3/28 (水)		3/28 (水)	
10:15	<b>W19a</b> フィッティング法による CCD 内部構造の解明 ○河野 誠、今西健介、馬場 彩、辻本匡弘、村上弘志、鶴 剛、小山勝二 (京大理)		<b>W28b</b> Ti-Au 薄膜を用いたマイクロカロリメータによる X 線検出 ○石崎欣尚、影井智宏、大橋隆哉、山崎典子、久志野彰寛、広池哲平 (都立大)、宮崎利行、大島 泰、満田和久、藤本龍一、伊予本直子、M. D. Audley、山崎正裕、二元和朗 (宇宙研)、庄子習一、工藤寛之、横山雄一 (早大理工)
10:30	<b>W20a</b> 衛星搭載 X 線 CCD カメラの高速データ処理 ○穴吹直久 (東大理/宇宙研)、尾崎正伸 (宇宙研)、川崎正寛 (東大理/宇宙研)、小川 道雄 (学習院理/宇宙研)、堂谷忠靖 (宇宙研)		<b>W30b</b> 気球搭載用 CdTe 硬 X 線検出器の開発 ○小林 研 (東大理)、常田佐久、田村友範 (国立天文台)、勝川行雄、久保雅仁 (東大理)、斎藤芳隆、太田茂雄、山上隆正 (宇宙研)、森 国城 (クリアパルス)、山口正樹 (オービタルエンジニアリング)
10:45	<b>W21a</b> TES 型 X 線マイクロカロリメータの分解能向上と撮像化に向けて ○二元和朗、山崎正裕、満田和久、藤本龍一、伊予本直子、宮崎利行、大島泰、M. D. Audley (宇宙研)、石崎欣尚、影井智宏、広池哲平、大橋隆哉、山崎典子 (都立大)、庄子習一、工藤寛之、横山雄一 (早大理工)	14:30	<b>W31a</b> 迷光防止を目的とした XRT 用プレコリメータの開発 ○森 英之、柴田 亮、國枝秀世、石田学、見崎一民、遠藤貴雄、今村晃介、日高康弘、伊藤 啓 (宇宙研)
11:00	<b>W22a</b> 高いエネルギー分解能を持ったテルル化カドミウム (CdTe) 半導体検出器と撮像素子への応用 ○渡辺 伸、佐藤悟朗、古宇田 学、高橋忠幸 (宇宙研)、岡田 祐 (東大理)	14:45	<b>W32a</b> InFOC $\mu$ S 気球実験搭載用硬 X 線望遠鏡の性能評価 ○加藤正磨、後藤有史、山下広順、田原譲、小賀坂康志、田村啓輔、芳賀一壽、岡島 崇、市丸 智、高橋誠司、鬼頭秀朗、福田真一、野本憲太郎、佐竹宏之 (名大理)、国枝秀世 (宇宙研)
11:15	<b>W23b</b> 次期ガンマ線観測衛星 GLAST ○深沢泰司、釜江常好、大杉 節、吉田勝一、水野恒史 (広大理)、尾崎正伸 (ISAS)、河合誠之 (理研)	15:00	<b>W33a</b> 直接レプリカ法で製作した多層膜スーパーミラー硬 X 線望遠鏡の性能評価 ○佐竹宏之、福田真一、小賀坂康志、岡島 崇、高橋誠司、加藤正磨、田原譲、山下広順、田村啓輔、芳賀一壽、市丸智、鬼頭秀郎、後藤有史、野本憲太郎 (名大理)
	<b>W24b</b> 低軌道衛星における汎用宇宙線バックグラウンドモデルの構築 ○尾崎正伸 (宇宙研)、釜江常好 (広大理、SLAC)、水野恒史、平野勝也、深沢泰司、緒方 聖、水嶋浩文 (広大理)	15:15	<b>W34a</b> X 線望遠鏡用非球面薄板基板の開発 I ○粟木久光 (愛媛大理)、田原 譲、小賀坂康志 (名大理)、国枝秀世 (宇宙研)、大森 整 (理研)
	<b>W25b</b> Si 薄膜結晶による分光回折 ○小池哲司、北本俊二、緒方英樹、山崎順 (阪大理)		ポスターのみ <b>W08c</b> ASTRO-F 搭載用 遠赤外線圧縮型 Ge:Ga <sub>2</sub> 次元アレイ検出器開発 III ~ プロトモデルの完成 ~ ○廣岡伸弥、芝井 広、佐藤彰子、川田光伸、渡部豊喜、平尾孝憲、永田洋久、日比康詞 (名大理)、土井靖生 (東大総文)、中川貴雄 (宇宙研)、巻内慎一郎 (東大理)、廣本宣久、藤原幹生 (通信総研)、他 ASTRO-F/FIS チーム
	<b>W26b</b> 電子線を使った CCD の診断 大田基在、岡田貴志、○北本俊二 (阪大理)		<b>W29c</b> MPEC2 チップを用いたテルル化カドミウム (CdTe) ガンマ線ピクセル検出器 ○高橋忠幸、渡辺 伸、古宇田 学、佐藤悟郎 (宇宙研)、N. Wermes、M. Lindner (Bonn Univ.)
11:30	<b>W27b</b> 超伝導トンネル接合検出器の X 線撮像性能の研究 (III) ○村上裕一郎、久志野彰寛、篠崎慶亮、石井繭子、石崎欣尚、山崎典子、大橋隆哉 (都立大)、菊池健一 (NASDA)、倉門雅彦 (大阪電通大)		

X. 情報処理 (C 会場)

3/27(火)	
11:15	<p><b>X01b</b> SPH 法に於ける近傍粒子探しの方法 ○幸田 仁 (東大理)</p> <p><b>X02b</b> 天文画像データ検索・閲覧システム MAISON の開発 2. ○渡辺 大 (科学技術振興事業団/宇宙研)、青木賢太郎 (科学技術振興事業団/国立天文台)、三浦 昭 (宇宙研)、安田直樹 (国立天文台)</p>

Y. 天文教育・その他 (A 会場)

3/26(月)		3/26(月)	
10:00	<p><b>Y01a</b> 22 GHz 無線通信と VERA 観測への影響評価 ○藤沢健太 (国立天文台)、周波数保護小委員会 (国立天文台電波専門委員会)</p>	10:30	<p><b>Y06b</b> 新星 V1500 Cyg のスペクトルの教材化 ○大島 修、川端善仁 (岡山県立鴨方高校)</p> <p><b>Y07b</b> インターネット天文台、その進化と真価 ○松本直記、坪田幸政 (慶應高校地学)、佐藤毅彦 (東理大/FRCCS)</p> <p><b>Y08b</b> 公開天文台での定常観測生データの公開 ○豊増伸治 (みさと天文台)</p> <p><b>Y09b</b> 「葛飾区郷土と天文の博物館」における太陽磁場測定 ○佐藤規夫、米駕和香子、小山知人、平山 淳 (明星大)、新井達之 (葛飾区郷土と天文の博物館)</p>
10:15	<p><b>Y02b</b> 講演活動が若者に与える影響の調査—講演は若者の知離れを阻止できない— ○縣 秀彦 (国立天文台)、山本泰士 (電通大)、永井智哉 (国立天文台)、渡辺 裕 (東大附属中等教育学校)</p> <p><b>Y03b</b> 「高校生天体観測ネットワーク」による「全国高校生月食観測会」のとりくみ ○篠原秀雄 (埼玉県立三郷北高校)、高校生天体観測ネットワーク運営委員会</p> <p><b>Y04b</b> 「高校生天体観測ネットワーク」による「しし座流星群国際観測会」のとりくみ ○小川 宏 (筑波大自然学類)、高校生天体観測ネットワーク運営委員会</p> <p><b>Y05b</b> 美星スペースガードセンターの多量画像データを使った教育活動 (I) 浅見敦夫、David Asher、橋本就安、磯部琇三、西山広太、大島良明、寺蘭淳也、浦田 武、吉川 真 (日本スペースガード協会)、○横田孝夫 (日本宇宙フォーラム)</p>	<p>10:45 <b>Y10b</b> Tycho Brahe の星表における星の同定 ○藤原智子 (京大理)</p> <p>ポスターのみ</p> <p><b>Y11c</b> 電子冷却カラー CCD による日周運動の動画製作 ○小澤友彦、尾久土正己、矢動丸 泰、豊増伸治 (みさと天文台)、田口弘子、田辺玲奈 (東京学芸大)、市川 伸一、渡部潤一 (国立天文台)</p>	

## ジュニアセッション G会場 (3月26日 14:00~15:30)、ポスター会場 II (3月26-28日)

01	ぐんま天文台で観測した太陽と星の動き ..... <口頭・ポスター> 梅澤陽明 (高2)、草野麗子 (高2)、宮川明子 (高2)、竹本孝輔 (高1) 【東京工業大学工学部附属工業高等学校】 川元真依 (高2)、松本理那子 (高2)、巢瀬蔵人 (高2)、高木 聡 (高2) 【成蹊高等学校】
02	分光観測による太陽の自転速度の測定 ..... <口頭> 北爪 淳 (高1) 【巣鴨高等学校】
03	さそり座 $\delta$ 星の変光の秘密を探る ..... <口頭・ポスター> 北爪 淳 (高1) 【巣鴨高等学校】 徳重文子 (高2) 【新潟清心女子高等学校】 宮本大輔 (高1) 【渋谷幕張高等学校】 陸 翔 (高2) 【桜蔭高等学校】
04	地球の影のRGB測光 ..... <口頭・ポスター> 飯田 健 (高2) 【埼玉県立三郷工業技術高等学校】
05	名古屋の高校生ネットワーク ..... <口頭・ポスター> 横地里美 (高2)、三田村裕美 (高2) 【愛知県立千種高等学校】
06	流星群の出現数と流星塵の数の関連性 ..... <口頭・ポスター> 場田隼也 (高2)、赤間和樹 (高2)、富士田真市 (中2) 【流星中・高等学校】 足立香奈 (高2)、沖野翔吾 (高2) 【堀川高等学校】 大島剛志 (高1) 【京都教育大学附属高等学校】
07	HRO 流星電波観測システムの構築とアンテナ性能試験 ..... <口頭・ポスター> 遠藤 誠 (高専3)、柞山 快 (高専3)、柳沢雅俊 (高専3)、 川邨雅貴 (高専3)、丸山俊之 (高専3)、伊藤雄作 (高専3)、 徳永麻伊 (高専2)、山田真澄 (高専2) 【長野工業高等専門学校】
08	流星電波観測による散在流星の日々の変動とその長期変動 ..... <口頭・ポスター> 飯島由紀子 (高専1)、小林 彩 (高専1)、青木良枝 (高専1) 【長野工業高等専門学校】
09	HROによる流星観測の試み ..... <口頭・ポスター> 植原規宏 (高2)、小川麻美 (高2)、宮川貴寛 (高2)、後藤瑞穂 (高2)、 藤野翔太 (高1)、森田淳一 (高1)、緒方洋輔 (高1)、塚田順一 (高1)、 丸山潤一 (高1)、田中智子 (高1)、高橋陽子 (高1)、茂木希望 (高1) 【埼玉県立越谷北高等学校】
10	2000年しし座流星群 アマチュア無線電波観測 (HRO) の結果と他地域との比較 ..... <口頭・ポスター> 扇谷響子 (高1)、川合里奈 (高2)、伴田 玲 (高2)、 丸山絵里子 (高2)、村尾和子 (高2) 【遺愛女子中学高等学校】
11	流星群の電波観測 ..... <ポスター> 田中琢也 (高2)、海塚大輔 (高2)、渡辺ゆかり (高2)、 福岡好美 (高2)、松川知美 (高2) 【鳥根県立大田高等学校】
12	電波観測による2000年しし座流星群 ..... <ポスター> 小林美歩 (高2)、大内亜希子 (高2)、林 映里子 (高2) 【星野女子高等学校】
13	月までのきょりと月の大きさ ..... <ポスター> 福島良介 (小6) 【山形市立第五小学校】